

令和6年版

消 防 年 報



新見市マスコットキャラクター にーみん

新見市消防本部
(令和7年刊行)

總說

総 説

1 市 勢

新見市は、岡山県の北西に位置し、西は広島県庄原市、北は鳥取県日野郡と県境を接する人口25,571人、面積793.29km²の中山間都市です。市域のほぼ中央に位置する市街地は企業や官公庁、商業施設が集中する市の中核で、中国縦貫自動車道や国道・県道及びJR在来線が東西・南北を貫く交通の要衝となっています。周辺地域は、広大な市の面積のほとんどを占める山林や農地で形成され、農産物等の生産や埋蔵量豊富な石灰岩の産出により、市の主な産業である農林業、畜産業、鉱業を支えており、それぞれが経済的・社会的にその機能と役割を果たしてきています。

また、公立の『新見女子短期大学』として開学し、現在男女共学の4年制大学に改組された『新見公立大学』は、今後学生数の増加が見込まれ、保育・看護・福祉の専門人材を養成する機関として発展が期待されます。市では大学を応援する機運を醸成するとともに、大学が設置されている利点を活かし、大学と連携して市の活性化や課題解決に向けた「大学を活かしたまちづくり」を行っています。

このようなことから、将来の都市像を「人と地域が輝き 未来につながる 源流共生のまち・にいみ」として、地域資源の活用、多様な主体との連携と協働、地域共生社会の構築による「個性と魅力あるまちの創造」「持続可能なまちの創造」に取り組んでいます。

当消防本部は、新見市消防本部として昭和43年4月に発足し、昭和47年に隣接する1市4町で消防の広域化が図られ新見地区消防本部となり、さらに、平成17年3月31日にこの構成市町の自治体が合併し、新見市消防本部と改名されて現在に至っており、1本部1署4分署、職員85人の体制で消防団員898人とともに市民の安心・安全のために災害対応・防災に従事しております。

2 新見市消防本部の沿革

昭和 43. 4	政令指定により、新見市に消防本部・消防署が設置され、消防長以下22名水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台で発足した。
43. 12	消防庁舎完成、鉄筋コンクリート造り3階建、517.85m ²
44. 3	日本損害保険協会寄贈による消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザーA1）が納入された。
44. 4	連絡広報車（ニッサンセドリック）購入
44. 12	職員1名死亡退職、職員数21名となる。
45. 3	救急自動車（トヨタクラウン・2B）1台購入
45. 4	救急業務開始、職員6名を採用、職員数27名となる。
47. 4	新見市周辺の阿哲郡4町（大佐町、神郷町、哲多町、哲西町）が常備消防設置の政令指定を受け、同時に、県知事から阿新広域事務組合規約の変更が許可され、組合の事務に消防業務が加えられた。
47. 5	組織の変更により、従来の新見市消防本部・署の職員23名、消防ポンプ2台、無線施設等組合へ移行、新見市からの派遣職員4名と併せて職員27名で組合消防発足、当面周辺4町は予防業務のみ実施する。
47. 6	派遣職員（新見市）1名増員、実員28名となる。 広報車（いすゞライトバン1,600cc）購入
47. 7	5日間にわたる豪雨で管内各地に河川氾濫、土砂崩れ等の被害が続出、連日連夜、職員の水防活動が行われた。昭和47年7月豪雨と名付けられた。
47. 8	分駐所配置の小型動力ポンプ（トーハツV15AC1級）4台購入
47. 12	分駐所配置の消防ポンプ自動車（ニッサンFH60 3,950cc 日機R3F）4台購入
48. 4	職員30名採用、実員58名となる。（定員58名） 政令発効により、管内全域の消防業務を開始 刑部分駐所（大佐町）、新郷分駐所（神郷町）、萬歳分駐所（哲多町）、矢神分駐所（哲西町）の4分駐所を仮庁舎で開設、職員各7名を配す。
48. 6	分駐所庁舎完成、鉄骨ブロック平屋建て146m ² 4カ所
48. 10	職員1名退職、実員57名となる。
48. 11	管内全域をエリアとする無線施設完成、運用に入る。（NEC） 周波数152.09MHz、150.33MHz 固定局 7局（基地局 5局）、移動局 22局
48. 12	日本船舶振興会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。新見消防署に配置した。

49.	3	定数条例を改正、消防職員の定数を「64名」とした。
49.	4	職員3名採用、実員60名となる。
49.	6	職員3名採用、実員63名となる。
49.	9	日本船舶振興会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入され、刑部分駐所に配置した。職員1名退職、実員62名となる。
50.	1	無線機（NEC）2台増設、救急自動車に搭載する。移動局24局となる。
50.	3	日本損害保険協会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。新郷分駐所に配置した。
50.	4	無線機（NEC）1台増設、救急自動車に搭載する。移動局25局となる。
51.	3	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（トヨタ2B）納入される。 萬歳分駐所に配置した。
51.	4	職員2名採用、実員64名となる。 日本損害保険協会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。矢神分駐所に配置した。
51.	5	無線機（NEC）2台増設、救急自動車に搭載する。移動局27局となる。
51.	6	派遣職員1名減員、実員63名となる。
51.	12	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、日野KL501 6,210cc 日機R3）購入 新見消防署に配置し、老朽したタンク車を除却処分した。 無線機（NEC）1台増設、化学消防ポンプ自動車に搭載する。移動局28局となる。
52.	12	指揮連絡車（スズキジムニー55バン）2台購入、新郷、矢神分駐所に配置した。
53.	3	仮眠室増築工事完成
53.	7	専任消防長任命（新見市助役の事務取扱を廃止、消防署長が昇格）
53.	10	中国自動車道北房～東城間救急業務の引受け、併せて真庭消防本部、三次地区消防本部との間に消防相互応援協定を締結した。 定数条例を改正、消防職員の定数を「69名」とした。
53.	11	指揮連絡車（スズキジムニー55バン）2台購入、刑部、萬歳分駐所に配置した。
53.	12	救急指令装置（NEC B型）を配置、緊急電話12回線、一般加入電話4回線等と消防無線を収容
54.	1	救急自動車（ニッサンキャラバン2,000cc 2B）購入、中国自動車道救急業務に備えて新見消防署に配置した。

54.	3	指令査察車（ニッサンセドリックバン2,000cc）購入、新見消防署に配置し、老朽した広報車を処分した。 無線機（NEC）5台増設、救急自動車、指令査察車及び指揮連絡車3台に搭載、移動局33局となる。職員1名死亡退職、実員62名となる。
54.	4	職員5名採用、実員67名となる。
54.	5	職員1名補充採用、実員68名となる。
54.	7	職員1名病気退職、実員67名となる。
55.	4	職員2名採用、実員69名となる。
55.	7	全職員を消防庁告示による救急隊員の有資格者とするため、消防大学救急科
～56.	3	へ職員2名を派遣、部内講師として、署所ごとに72時間の補充講習を実施した。
56.	4	管理者制から理事会制に改正 消防本部に6係を設ける等機構の改善、整備を行った。
57.	2	岡山県共済農業共同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。新見消防署に配置した。
57.	4	消防庁舎（本部・署）用地・建物取得、敷地 2,082m ² 建物 鉄筋コンクリート造り2階建延べ385.20m ²
57.	6	消防庁舎（本部・署）新築・改造工事着工
57.	9	日本損害保険協会寄贈による消防ポンプ自動車（ニッサンJ-FG160 3.6KWA1級）火災保険号「阿新」が納入される。新見消防署に配置した。 消防庁舎（本部・署）新築・改造工事竣工 消防署新築、鉄骨造り平屋建て420.07m ² 既存棟改造
57.	10	新消防庁舎へ移転、業務を開始（所在地 新見市新見312番地の2）
58.	6	事務機構の一部改正により、消防本部に庶務課と警防課の2課（6係）を設けた。
58.	11	日本防火協会寄贈による防火広報車（ニッサンキャラバン）1台納入される。
59.	3	消防訓練塔完成
60.	7	災害の多様化、広域化に備え隣接消防本部（鳥取県西部広域行政管理組合、真庭消防組合及び高梁市）との消防、救急に関する相互応援協定を締結した。
60.	11	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、新見消防署に配置老朽車両1台を廃車した。
61.	2	日本損害保険協会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。

		刑部分駐所に配置、老朽車両を更新した。
61.	3	新見消防署にシャワー室併設の車庫79.18m ² を新築した。 職員1名退職、実員68名となる。
61.	9	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、新郷分駐所の車両を更新した。
61.	10	職員1名採用、実員69名となる。
61.	12	消防本部通信指令室に無線第二基地局（全国、県内共通波）を設置した。
62.	1	新見市から、小型動力ポンプ積載車（ニッサン44年式）の移管を受ける。
62.	4	新見市からの派遣職員1名減員、実員68名となる。
62.	7	中国自動車道下り線213KP、新見市上熊谷地区で大型タンクローリーが横転し、積荷の毒物（フッ化水素酸）が流出、付近の住民避難や農作物、花木の枯渇、河川汚染等多大の被害があり、その防除活動に従事した。
62.	9	消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入、矢神分駐所の車両を更新した。
62.	11	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）納入される。萬歳分駐所の車両を更新した。
62.	12	中国自動車道における、消防、救急に関する相互応援について岡山県内の関係4本部（英田、津山、真庭、新見）で協定を締結した。
63.	3	職員1名退職、実員67名となる。
63.	4	職員1名採用、実員68名となる。 新見大火50年、自治体消防発足40周年を記念して、新見市消防大会が開催され、記念式典及び消防演習に消防本部も参加した。
63.	6	第1回岡山県消防救助技術訓練大会が岡山市で開催され、ほふく救出の部とはしご登はんの部に出場、それぞれ優勝、入賞の好成績を収めた。
63.	12	救助工作車（Ⅱ型）1台、無線電話機1台及び救助用資機材を購入、新見消防署の救助体制を強化した。 消防ポンプ自動車（BD-1）1台を購入、刑部分駐所の車両を更新した。
64.	1	天皇陛下崩御、元号が「平成」に改められた。（1月8日） 平成元. 1 自治省消防庁「救急基金」の寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、新郷分駐所の車両を更新した。
平成元.	3	職員1名退職、実員67名となる。
元.	4	職員1名採用、実員68名となる。
元.	7	消防指令車（スバルレガシーウゴン1,800cc）購入、新見消防署の車両を更新した。

元. 10	新見信用金庫から同金庫創立40周年記念事業の一環として、救急自動車（ニッサンキャラバン2B、4WD無線電話付）1台が寄贈、納入され新見消防署へ配置した。
元. 11	消防ポンプ自動車（BD-1）1台を購入、萬歳分駐所の車両を更新した。
元. 12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B、4WD）1台が岡山県から配分され、矢神分駐所の車両を更新した。
2. 3	大規模、広域化する災害に対応するため、岡山県全域にわたる消防相互応援協定が締結された。（4月1日運用開始）
2. 10	職員1名病気退職、実員67名となる。
3. 1	日本損害保険協会寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B）1台が納入され、新見消防署の車両を更新した。
3. 4	職員1名採用、実員68名となる。
3. 8	日本船舶振興会（日本消防協会）寄贈の救急自動車（ニッサンキャラバン2B）1台が納入され、新見消防署の車両を更新した。
3. 9	定数条例を改正、消防職員の定数を「70名」とした。
4. 1	職員1名死亡退職、実員67名となる。
4. 3	定数条例を改正、消防職員の定数を「72名」とした。 消防無線施設（固定局、基地局、空中線）を更新、一部伝播状況を改善するため神郷町釜村に中継局を設置した。
4. 4	職員2名採用、実員69名となる。
4. 9	日本損害保険協会寄贈の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンU-CM87EE、日本ドライケミカルA-1級）1台が納入され、新見消防署へ配置した。
4. 12	消防連絡車（ミツビシV-U42V）2台を購入、新郷、矢神分駐所の車両を更新した。
5. 3	定数条例を改正、消防職員の定数を「82名」とした。
5. 4	職員3名採用、実員72名となる。
5. 6	各分駐所に電話転送装置を設置、消防本部でも対応可能となった。
5. 8	消防連絡車（ミツビシV-U42V）2台を購入、刑部、萬歳両分駐所の車両を更新した。
5. 9	新見ロータリークラブ創立20周年記念事業として、軽四輪ライトバン（スズキV-DF51V）1台の寄贈を受け、新見消防署に配置した。
5. 11	消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
6. 1	消防通信指令施設の更新を行い同時に気象観測装置と災害情報自動案内装置を新規導入して運用を開始した。

6. 3	岡山県事業による防災行政通信ネットワークの衛星系工事が完成、一部消防本部、市町村等と衛星を使った各種通信が可能となった。
6. 4	職員7名を採用し、派遣職員1名を減員、実員78名となる。 事務機構の一部改正により消防本部が総務課、予防課、警防課の3課となり、消防署に新たに救急救助係を設けた。 分駐所の名称を大佐分署、神郷分署、哲多分署、哲西分署に改めた。
7. 4	職員5名採用、実員83名となる。
7. 5	職員1名退職、実員82名となる。
7. 12	岡山県共済農業共同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、大佐分署の車両を更新した。
8. 4	派遣職員1名増員、実員83名となる。
8. 5	職員1名退職、実員82名となる。
8. 6	備北地区消防行政組合と中国自動車道における消防相互応援協定を締結した。
8. 9	職員1名退職、実員81名となる。
8. 12	化学消防ポンプ自動車（II型、日野GDIJGB7, 960cc日機R3）を購入、新見消防署の車両を更新した。
9. 3	職員1名死亡退職、実員80名となる。 大佐分署新築（敷地1,280.69m ² 、建物面積270.06m ² ）
9. 4	新見市消防団に関する事務を新見市へ移管、実員79名となる。 職員1名採用、実員80名となる。 消防職員と新見市職員の相互交流に関する協定書を締結した。
9. 9	職員1名採用、実員81名となる。
9. 12	消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、神郷分署の車両を更新した。
10. 5	職員1名退職、実員80名となる。
10. 9	職員1名採用、実員81名となる。
10. 11	移動体の119番通報の受信を開始する。
10. 12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、哲多分署の車両を更新した。
11. 3	通信指令室（27.565m ² ）を増築 消防ポンプ自動車（CD-1）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
11. 8	救急自動車（ニッサン2B）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。
12. 9	救急自動車（ニッサン2B）1台を購入、新見消防署の車両を更新した。既存車（H11. 8購入分）を神郷分署に移管した。

12. 12	岡山県共済農業協同組合連合会寄贈による救急自動車（ニッサン2B）1台が納入され、哲西分署の車両を更新した。
13. 7	高規格救急自動車（ニッサンGE-FLW50）1台を購入、新見消防署へ配置した。新見消防署に配置していた救急車（ニッサン2B）を廃車した。
13. 9	高規格運用に伴う医師の指示に関する協定書及び大規模救急事故等救急業務実施要綱に関する協定書並びにタクシー協会備北支部との覚書を締結した。
14. 3	職員2名退職、実員79名となる。 神郷分署新築（敷地1,274.31m ² 、建物面積267.52m ² ）
14. 4	職員2名を採用、実員81名となる。
14. 7	消防指令車（ニッサンエクストレイル）購入、新見消防署の車両を更新した。
15. 2	哲西分署新築（敷地1,281.29m ² 、建物面積268.25m ² ）
16. 3	哲多分署新築（敷地816.95m ² 、建物面積268.00m ² ） 職員3名退職、実員78名となる。
16. 4	職員2名採用、実員80名となる。
17. 3	新見市と阿哲郡4町（大佐町、神郷町、哲多町、哲西町）が行政合併し、「新見市」となる。阿新広域事務組合は解散し、新見地区消防本部は名称を「新見市消防本部」とし、新見消防署は「新見市消防署」とする。
17. 4	消防本部に「消防団係」を設ける。 定数条例を改正、消防職員の定数を「81名」とした。 新見市から1名出向、実員81名となる。
17. 7	職員1名死亡退職、実員80名となる。
18. 3	職員3名退職、実員77名となる。
18. 4	職員2名採用、実員79名となる。 職員1名退職、実員78名となる。
18. 9	職員2名採用、実員80名となる。
18. 11	高規格救急自動車（ニッサンTC-FPWGE50）購入、新見市消防署の車両を更新した。
19. 3	職員1名退職、実員79名となる。
19. 4	定数条例を改正、消防職員の定数を「85名」とした。 新見市から1名出向、新見市に2名帰任、実員78名となる。
19. 7	職員1名採用、実員79名となる。
20. 2	消防ポンプ車（CD-1）1台を購入、新見市消防署の車両更新。 日本消防協会寄贈による消防団活動車（ダイハツ軽四）1台が納入された。

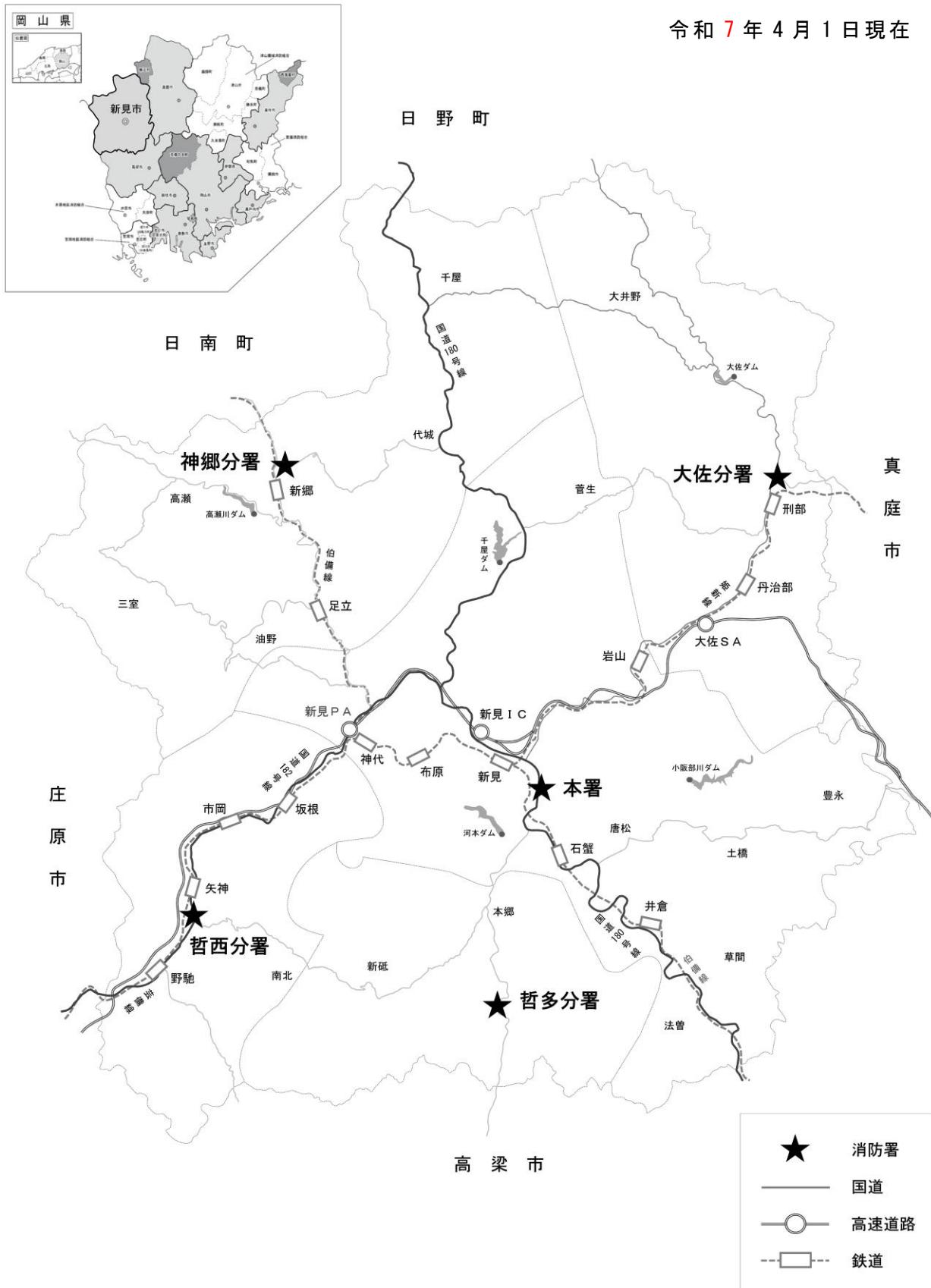
20.	3	職員 4 名退職、実員 75 名となる。
20.	4	職員 5 名採用、実員 80 名となる。
20.	5	職員 1 名死亡退職、実員 79 名となる。
21.	3	職員 5 名退職、実員 74 名となる。
21.	4	職員 8 名（うち 1 名女性）採用、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 81 名となる。
21.	8	日本宝くじ協会寄贈による消火・通報訓練指導車（マツダ タイタン）が 1 台納入された。
21.	11	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。
22.	1	消防ポンプ自動車（CD-1）購入。暫多分署の車両を更新した。
22.	3	高機能消防指令センター（消防緊急通信指令台）を導入
22.	3	職員 8 名退職、実員 73 名となる。
22.	4	職員 5 名（うち 1 名女性）採用、新見市から 1 名出向、実員 79 名となる。
22.	4	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両（いすゞ レッドシーガル）を 1 台借り受けた。
22.	6	救助工作車（Ⅱ型）を購入、新見市消防署の車両を更新した。
22.	7	職員 1 名退職、実員 78 名となる。
22.	8	全国共済農業協同組合連合会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、新見市消防署の車両を更新した。
23.	3	職員 4 名退職、実員 74 名となる。
23.	4	職員 6 名（うち 1 名女性）採用、新見市へ 1 名出向、新見市から 1 名出向、実員 80 名となる。
23.	12	日本損害保険協会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、新見市消防署の車両を更新した。
23.	12	女性職員、仮眠室増築工事完成
23.	12	職員 1 名退職、実員 79 名となる。
24.	1	女性職員、隔日勤務開始
24.	3	職員 3 名退職、実員 76 名となる。
24.	4	職員 4 名採用、新見市から 1 名帰任、実員 81 名となる。
24.	12	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を購入、新見市消防署の車両を更新した。
25.	2	消防救急デジタル無線実施設計完了
25.	3	非常用発電機を新見市消防本部・新見市消防署の庁舎屋上に設置した。
25.	3	職員 1 名退職、実員 80 名となる。

25.	4	職員 2 名採用、新見市へ 1 名帰任、岡山県消防防災航空センターから 1 名帰任、実員 82 名となる。
25.	6	消防救急無線デジタル化整備工事契約
25.	10	消防救急無線デジタル化整備工事着手
26.	3	職員 7 名退職、実員 75 名となる。
26.	4	職員 7 名採用、新見市へ 1 名出向、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
26.	11	消防救急無線デジタル運用開始
26.	12	日本損害保険協会寄贈による小型動力ポンプ付軽消防自動車が納入され、新見市消防団の車両を更新した。
27.	2	総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 1 台を新見市消防団に借り受けた。
27.	3	職員 7 名退職、実員 75 名となる。
27.	4	職員 6 名採用、新見市から 1 名帰任、新見市へ 2 名出向、新見市から 2 名出向、実員 82 名となる。
27.	12	救急自動車（2B 型）購入、神郷分署の車両を更新した。
28.	3	職員 6 名退職、実員 76 名となる。
28.	4	職員 4 名採用、新見市に 1 名帰任、新見市から 2 名出向、実員 81 名となる。
29.	1	職員 1 名退職、実員 80 名となる。
29.	2	職員 1 名退職、実員 79 名となる。
29.	3	職員 5 名退職、実員 74 名となる。
29.	4	職員 6 名採用、新見市から 2 名帰任、新見市に 1 名帰任、新見市から 3 名出向、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 83 名となる。
29.	8	消防連絡車（スズキ エブリイ）を購入、哲西分署の車両を更新した。
29.	12	日本損害保険協会寄贈による高規格救急自動車（日産パラメディック）が納入され、哲多分署の車両を更新した。
30.	3	職員 4 名退職、実員 79 名となる。
30.	4	職員 3 名採用、新見市に 1 名帰任、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
31.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。 職員 5 名退職、実員 77 名となる。
31.	4	職員 6 名採用、新見市に 2 名帰任、新見市から 1 名出向、実員 82 名となる。
令和元.	9	職員 1 名退職、実員 81 名となる。
2.	3	消防ポンプ自動車（CD-1）購入、大佐分署の車両を更新した。 職員 1 名退職、実員 80 名となる。

2.	4	職員 1 名採用、1 名再任用、新見市に 1 名帰任、新見市から 1 名出向、岡山県消防防災航空センターから 1 名帰任、実員 83 名となる。
2.	5	新見市石蟹の新見市防災公園内に造成中であった、消防水出し操法訓練場が完成した。
2.	8	新見市消防体制基本構想検討委員会を設置し、将来に向けた持続可能な消防体制のあり方について検討を行い、令和 3 年 3 月 5 日に委員長が検討結果を市長へ報告した。
3.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）購入、新見市消防署の車両を更新した。 職員 2 名退職、実員 81 名となる。
3.	4	職員 1 名採用、2 名再任用（1 名継続）、実員 83 名となる。
3.	6	職員 1 名退職、実員 82 名となる。
4.	3	高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）2 台購入、新見市消防署、哲西分署の車両を更新した。 職員 2 名退職、実員 80 名となる。
4.	4	職員 3 名採用、1 名再任用、新見市に 2 名帰任、新見市から 2 名出向、実員 83 名となる。
5.	1	無人航空機（ドローン）の運用を開始。
5.	2	多目的消防ポンプ自動車 1 台購入、新見市消防署の車両を更新した。
5.	3	職員 3 名退職、実員 80 名となる。
5.	4	職員 2 名採用、新見市から 1 名出向、実員 83 名となる。 新消防庁舎造成工事着工
5.	10	新消防庁舎建設工事着工
6.	3	日本消防協会寄贈による消防団防災学習・災害活動車（トヨタ ハイエース）が納入された。
6.	4	職員 2 名採用、職員 1 名転属、新見市に 2 名帰任、新見市から 1 名出向、1 名再任用継続、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 84 名となる。
7.	3	資機材搬送車 1 台購入（いすゞ エルフ）、新見市消防署に配置した。 職員 1 名退職、実員 81 名となる。
7.	4	職員 3 名採用、岡山県消防防災航空センターへの派遣職員 1 名、実員 84 名となる。

3 管 内 図

(出動体系)



4 新見市消防本部の位置と状況

(令和7年4月1日現在)

位 置	東 経	北 緯
	133 度 28 分 25 秒	34 度 58 分 30 秒
面 積	793.29k m ²	
広 範	東 西	南 北
	30.0km	35.0km
人 口	25,571 人	
世 帯 数	12,393 世帯	

5 歴代消防長

歴 代	氏 名	在 任 期 間	備 考
初代	角田 忠夫	S43. 4. 1 ~ S44. 7. 18	新見市助役
2	赤木 孜一	S44. 7. 19 ~ S44. 10. 31	市長 代行
3	森宗 哲男	S44. 11. 1 ~ S52. 9. 30	新見市助役
4	渡邊 滋樹	S52. 10. 1 ~ S53. 6. 30	新見市助役
5	古屋 弘	S53. 7. 1 ~ S56. 5. 31	
6	竹本 博	S56. 6. 1 ~ S57. 5. 31	
7	生田 和男	S57. 6. 1 ~ S59. 3. 31	
8	城谷 廣	S59. 4. 1 ~ S60. 3. 31	
9	山本 靖弘	S60. 4. 1 ~ S62. 3. 31	
10	森下 博	S62. 4. 1 ~ H元. 3. 31	
11	小林 薫	H元. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	

12	池田 稔	H 4. 4. 1 ~ H 6. 3. 31	
13	小寺 令治	H 6. 4. 1 ~ H 8. 3. 31	
14	小林 玄造	H 8. 4. 1 ~ H10. 3. 31	
15	池上 弘幸	H10. 4. 1 ~ H13. 3. 31	
16	赤井 忠義	H13. 4. 1 ~ H14. 3. 31	
17	西村 武夫	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	
18	赤井 潔志	H15. 4. 1 ~ H17. 3. 30	
19	清水 博	H17. 3. 31 ~ H19. 3. 31	
20	高下 瀧昇	H19. 4. 1 ~ H22. 3. 31	
21	大本 正治	H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31	
22	小川 節雄	H23. 4. 1 ~ H25. 3. 31	
23	西村 定	H25. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
24	前原 幸治	H27. 4. 1 ~ H28. 3. 31	
25	吉田 裕明	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	
26	安松 潔	H29. 4. 1 ~ H31. 3. 31	
27	名越 淑郎	H31. 4. 1 ~ R 2. 3. 31	
28	貞岡 富佐雄	R 2. 4. 1 ~ R 3. 3. 31	
29	山本 明	R 3. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	
30	富谷 剛	R 4. 4. 1 ~ R 5. 3. 31	
31	田中 隆博	R 5. 4. 1 ~ R 6. 3. 31	
32	山田 邦広	R 6. 4. 1 ~	

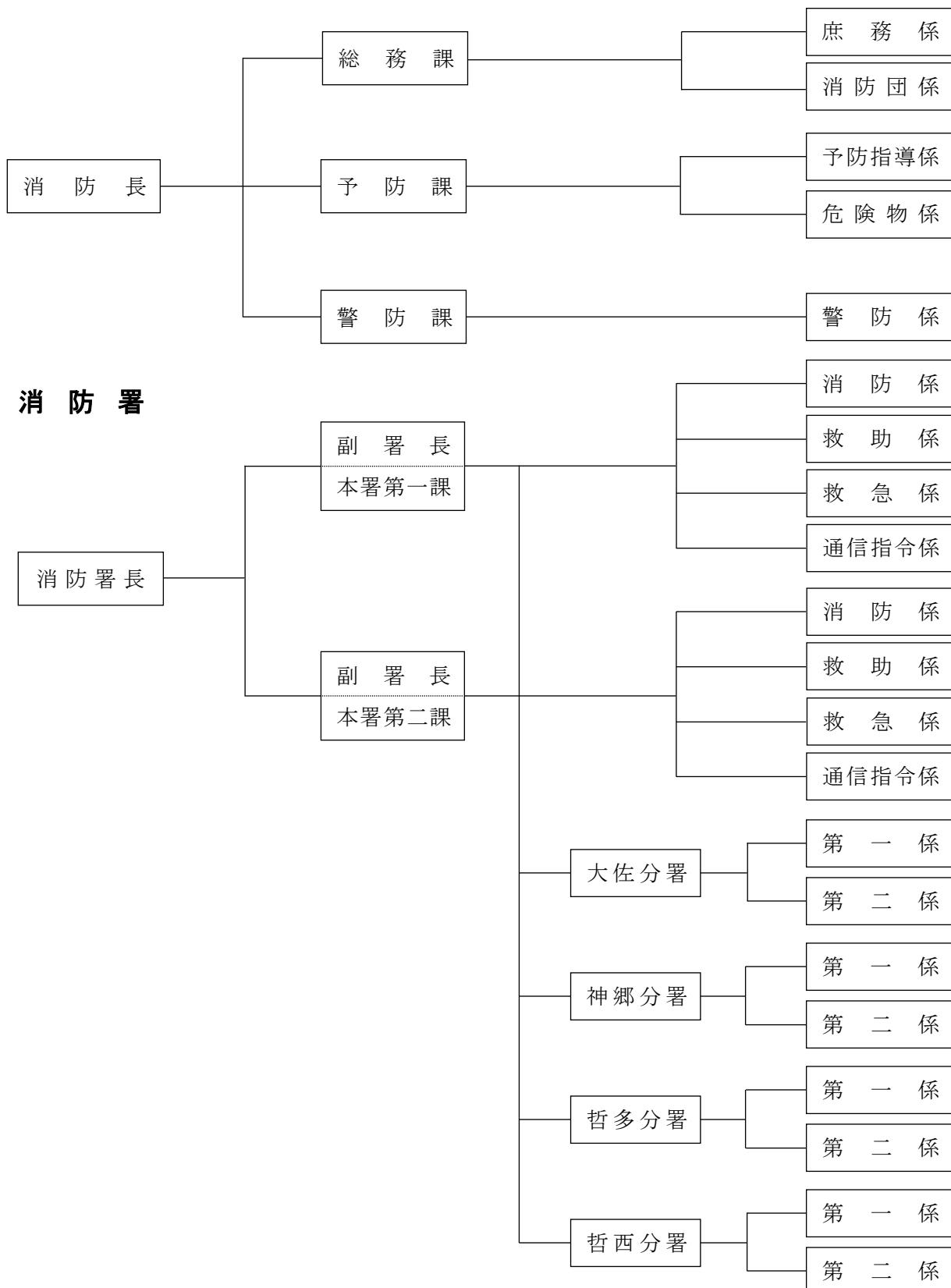
總務

總務

1 新見市消防本部・消防署組織図

(令和7年4月1日現在)

消 防 本 部



2 消防本部の事務分掌

総務課

○庶務係

- (1) 消防業務の総合的企画に関すること。
- (2) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (3) 公印の管守に関すること。
- (4) 相互応援協定、協約、その他関係機関との連携に関すること。
- (5) 儀式及び表彰に関すること。
- (6) 公文書の收受及び整理保管に関すること。
- (7) 各課、係処理事務の調整に関すること。
- (8) 消防職員委員会に関すること。
- (9) 職員の任免、分限、懲戒及び服務、賞罰その他身分に関すること。
- (10) 職員の給与、勤務時間、その他勤務条件に関すること。
- (11) 職員の勤務成績の評定に関すること。
- (12) 職員の教養及び訓練に関すること。
- (13) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (14) 公務災害補償に関すること。
- (15) 職員の被服貸与に関すること。
- (16) 予算及び決算に関すること。
- (17) 収入及び支出命令に関すること。
- (18) 消防財産の管理及び処分に関すること。
- (19) 他の課、係の分掌に属しない事項に関すること。

○消防団係

- (1) 消防団員の任免、服務、表彰、その他身分に関すること。
- (2) 消防団員の被服の貸与に関すること。
- (3) 消防団員の公務災害補償に関すること。
- (4) 消防団員の研修・訓練に関すること。
- (5) 消防団員の報酬等の支給に関すること。
- (6) 消防団の消防施設に関すること。
- (7) 消防団の機械器具に関すること。
- (8) 消防団の予算決算に関すること。
- (9) その他消防団に関すること。

予防課

○予防指導係

- (1) 火災予防の指導、広報公聴、警戒、防火指導及び予防査察に関すること。
- (2) 建築物の許可又は確認の同意事務に関すること。
- (3) 防火対象物並びにその消防用設備等に関する検査、指導及び措置命令に関すること。
- (4) 防火対象物の火災原因調査に関すること。
- (5) 防火管理者、消防協力団体の指導育成に関すること。
- (6) 火災予防の関係資料収集及び統計に関すること。
- (7) その他火災予防に関すること。

○危険物係

- (1) 危険物製造所等、施設並びに設備の規制及び指導に関すること。
- (2) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (3) 液化石油ガス、高压ガスの防災対策と関連事務に関すること。
- (4) 少量危険物、指定可燃物及び劇毒物の貯蔵取扱い等の規制に関すること。
- (5) 火薬類の貯蔵、取扱い及び消費に係る防災対策等に関すること。
- (6) 危険物関係協力団体の指導育成に関すること。
- (7) 危険物関係等の統計に関すること。
- (8) 危険物等による災害の調査及び処理に関すること。

警 防 課

○警防係

- (1) 火災その他の災害の警戒、防御並びに救急、救助に関すること。
- (2) 警防業務の運用と配備計画の策定に関すること。
- (3) 消防地理並びに水利の調査と保全に関すること。
- (4) 消防技術の訓練、研究、調査及び指導に関すること。
- (5) 防災対策に関すること。
- (6) 火災の原因調査並びに損害調査に関すること。
- (7) 気象情報の収集及び火災警報に関すること。
- (8) 消防団との連携に関すること。
- (9) 他市町との相互応援活動に関すること。
- (10) 災害防御対策検討会の開催に関すること。
- (11) 火災、水防、救急、救助の統計に関すること。
- (12) 出動命令、非常召集に関すること。
- (13) 救急医療対策協議会に関すること。
- (14) 消防用車両及び通信施設その他消防装備、機械器具の管理運用並びに保守に関すること。
- (15) 消防装備の改善研究及び取扱い指導に関すること。
- (16) 消防本部所管の高压ガス施設及び設備器具の維持管理に関すること。
- (17) 消防本部内の事故防止と交通安全に関すること。
- (18) 機関員、通信員の育成指導に関すること。
- (19) 水防資器材の確保及び管理に関すること。

3 消防署の事務分掌

○消防係

- (1) 水火災その他の災害の警戒、防御に関すること。
- (2) 消防訓練に関すること。
- (3) 消防機械器具の整備に関すること。
- (4) 協力団体の指導に関すること。
- (5) 火災の原因等調査に関すること。
- (6) 水火災その他の災害の記録と統計に関すること。
- (7) 消防地理及び水利の調査と保全に関すること。
- (8) 火災予防の指導、広報広聴、予防査察に関すること。
- (9) 危険物、指定可燃物等の指導取締に関すること。

- (10) 自主防災組織の育成指導に関すること。
- (11) その他消防及び火災予防に関すること。
- (12) 署事務のうち、他の係に属さないこと。

○救助係

- (1) 救助活動に関すること。
- (2) 救助資機材の整備に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助の記録と統計に関すること。
- (5) その他救助に関すること。

○救急係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 救急資機材の整備に関すること。
- (3) 救急訓練に関すること。
- (4) 救急法の普及指導に関すること。
- (5) 救急の記録と統計に関すること。
- (6) その他救急に関すること。

○通信指令係

- (1) 災害防御の指令に関すること。
- (2) 地理水利、気象、交通、電気通信等、情報収集に関すること。
- (3) 職員の非常召集に関すること。
- (4) 通信機器の維持管理に関すること。
- (5) 消防無線局等の運用に関すること。

分署

第一課、第二課の事務取扱に準ずる。

附 則

この訓令は、令和4年4月1日から施行する。

4 階級別職員数

(令和7年4月1日現在) (単位: 人)

区分	階級	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
定 員		85				(階級別定数規定なし)		
実 員		85	1	20	14	21	15	14

5 職員定数・実員及び採用・退職状況 【() 内は女性】

(単位：人)

項目 年度別	定員	実数 (4/1 基準)	採用	市長部局		派遣	退職	摘要
				転入	転出			
S48	58	58	30	1	0	0	1	新見市消防本部（平成十七年三月三十一日合併） 広域消防 昭和四十八年四月一日全域業務開始 昭和四十七年五月二十日発足（新見市消防本部） 昭和四十三年四月一日発足
49	64	60	3 <6月採用3>	2	2	0	1	
50	64	62	0	1	1	0	0	
51	64	64	2	0	1	0	0	
52	64	63	0	0	0	0	0	
53	69	63	0	2	2	0	1	
54	69	67	5 <5月採用1>	0	0	0	1	
55	69	69	2	0	0	0	0	
56	69	69	0	3	3	0	0	
57	69	69	0	2	2	0	0	
58	69	69	0	2	2	0	0	
59	69	69	0	1	1	0	0	
60	69	69	0	0	0	0	1	
61	69	68	1 <10月採用1>	1	1	0	0	
62	69	68	0	1	2	0	1	
63	69	68	1	0	0	0	1	
H元	69	68	1	2	2	0	0	
2	69	68	0	1	1	0	1	
3	70	68	1	0	0	0	1	
4	72	69	2	1	1	0	0	
5	82	72	3	0	0	0	0	
6	82	78	7	1	2	0	0	
7	82	83	5	1	1	0	1	
8	82	83	0	1	0	0	3	
9	82	80	2 <9月採用1>	1	2	0	0	
10	82	81	1 <9月採用1>	1	1	0	1	
11	82	81	0	0	0	0	0	
12	82	81	0	0	0	0	0	
13	82	81	0	1	1	0	2	
14	82	81	2	1	1	0	0	
15	82	81	0	1	1	0	3	
16	82	80	2	2	2	0	0	
17	81	81	0	1	0	0	4	
18	81	79	4 <9月採用2>	0	0	0	2	
19	85	79	1 <7月採用1>	1	2	0	4	
20	85	80	5	0	0	0	6	
21	85	81 (1)	8 (1)	0	0	1	8	
22	85	79 (2)	5 (1)	1	0	1	5	
23	85	80 (2)	6 (1)	1	1 (1)	1	4	
24	85	81 (3)	4	1 (1)	0	1	1	
25	85	82 (3)	2	0	1	0	7	
26	85	82 (3)	7	1	1	0	7	
27	85	82 (2)	6	3	2 (1)	0	6	
28	85	81 (2)	4	2	1	0	7	
29	85	83 (3)	6	5 (1)	1	1	4	
30	85	82 (3)	3	1	1	1	5	
31(R元)	85	82 (2)	6	1	2	1	2	
2	85	83 (2)	2 <再任用1含>	1	1	0	2	
3	85	83 (2)	2 <再任用1含>	0	0	0	2	
4	85	83 (2)	3	1	2	0	3	
5	85	83 (2)	2	1	0	0	0	
6	85	82 (1)	2	1	3	1	1	

項目 年度別	定員	実数 (4/1 基準)	採用	市長部局		派遣	退職	摘要
				転入	転出			
7	85	84 (1)	3	0	0	1	0	

6 職員の配置状況

(令和7年4月1日現在) (単位:人)

階級 区分		計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
定 員		85	0	0	0	0	0	0
実 員		85	1	20	14	21	15	14
消防 本部	消防長	1	1	0	0	0	0	0
	総務	5	0	2	1	2	0	0
	予防	5	0	3	0	1	1	0
	警防	4	0	2	1(県派遣)	0	1	0
消防 署	署長	1	0	1	0	0	0	0
	副署長	2	0	2	0	0	0	0
	本署	31	0	4	6	8	6	7
	大佐分署	9	0	1	2	2	3	1
	神郷分署	9	0	1	2	3	1	2
	哲多分署	9	0	2	0	4	1	2
	哲西分署	9	0	2	2	1	2	2

7 職員の階級別年齢状況

(令和7年4月1日現在) (単位:人)

階級 年齢別		計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
20歳未満		1	0	0	0	0	0	1
20歳～25歳		12	0	0	0	0	0	12
26歳～30歳		13	0	0	0	0	12	1
31歳～35歳		9	0	0	0	6	3	0
36歳～40歳		18	0	0	4	14	0	0
41歳～45歳		10	0	0	9	1	0	0
46歳～50歳		13	0	12	1	0	0	0
51歳～55歳		7	0	7	0	0	0	0
56歳以上		2	1	1	0	0	0	0
計		85	1	20	14	21	15	14
平均年齢(歳)		36.7	57	50.8	42.0	36.4	29.4	22.3

8 職員の勤続年数状況

(令和7年4月1日現在) (単位:人)

勤続年数\階級	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
5年未満	11	0	0	0	0	0	11
5年以上～10年未満	14	0	0	0	0	11	3
10年以上～15年未満	14	0	0	0	10	4	0
15年以上～20年未満	21	0	1	9	11	0	0
20年以上～25年未満	4	0	0	4	0	0	0
25年以上～30年未満	3	0	2	1	0	0	0
30年以上	18	1	17	0	0	0	0
計	85	1	20	14	21	15	14

9 予算

○令和7年度一般会計当初予算と消防費の比較

(単位:千円)

般会計 予算額	消防費 予算額	割合 (%)	消 防 費									
			消 防 総務費	割合 (%)	地 域 防災費	割合 (%)	消 防 施設費	割合 (%)	地 域 防災施設 費	割合 (%)	災 害 対策費	割合 (%)
25,802,000	1,063,343	4.1	701,654	66.0	117,096	11.0	188,490	17.7	27,619	2.6	28,484	2.7

○消防費と人口・世帯数との比較

(単位:千円)

令和7年度 消防費予算額	1世帯あたり 平均負担額	人口1人あたり 平均負担額	備 考
1,063,343	85.8	41.6	世帯数 12,393世帯 人口 25,571人

○令和7年度消防歳出予算(当初)

(単位:千円)

項 目	費 目	予 算 額
消 防 費	総 合 計	1,063,343
	合 計	701,654
消防 総務 費	報 給 職 共 貢	2,530
	員 手 濟	312,928
	當 償	236,521
	費 金	106,153
	費 費	0
	費 費	485
	費 費	3,013
	費 費	90
	費 費	21,377
	費 費	3,458
	料 料	1,110
	料 料	3,622
	金 費	150
	金 費	9,579
	課	638

地域防災費	合 計				117,096
	報	償	費	酬	49,682
	報	償	費	費	471
	旅	際	費	費	10,892
	交	用	費	費	200
	需	務	費	費	18,881
	役	託	料	費	1,075
	委	使 用 料 及 び 賃 借 料			1,568
	使	負 担 金 ・ 補 助 及 び 交 付 金			1,276
	公	課	費		32,506
					545
消防施設費	合 計				188,490
	報	償	費	費	0
	需	用	費	費	11,706
	役	務	費	費	5,486
	委	託	料	料	30,600
	使	使 用 料 及 び 賃 借 料			1,898
	工	事 請	負	費	46,500
	備	品 購	入	費	92,300
	原	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金			0
	備	補 償 補 填 及 び 賠 償 金			0
地域防災施設費	合 計				27,619
	需	用	費	費	3,489
	委	託	料	料	0
	工	事 請	負	費	10,000
	原	材 料	費	費	180
	備	品 購	入	費	13,800
	負	負 担 金 ・ 補 助 及 び 交 付 金			150
	合	計			28,484
	報	員	手 当	酬 等 費	115
	職			費	0
災害対策費	共		手 濟 償	費	0
	報			費	15
	旅			費	40
	需		用	費	10,976
	役		務	費	124
	委		託	料	748
	使	使 用 料 及 び 貸 借 料			2,466
	備	品 購	入	費	8,141
	負	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金			5,859

10 初任給格付基準

(令和7年4月1日)

学歴	格付	金額
高校卒業者	行政職給料表 1級 5号給	188,000円
短大卒業者	行政職給料表 1級 13号給	201,000円
大学卒業者	行政職給料表 1級 25号給	220,000円

11 職員諸手当支給状況

(令和7年4月1日)

手当種別	支給範囲	支給単位	金額
時間外勤務	正規の勤務時間以外に勤務することを命ぜられたとき	1時間当たりの給与額	100分の125 ～100分の150
休日勤務	当務員が休日等に勤務したとき	1時間当たりの給与額	100分の135 ～100分の160
夜間勤務	当務員が正規の勤務時間として深夜に勤務したとき	1時間当たりの給与額	100分の25
管理職員特別勤務	勤務を要しない日及び休日に勤務したとき	2時間以上6時間以下	10,000～12,000円
		6時間以上を越えたもの	15,000～18,000円
特殊勤務手当	週休日等以外の日の午後10時から午前5時までの間に勤務したとき	1回当たり(2時間以上)	5,000～6,000円
	救急業務に出場し、傷病者の搬送作業に従事した消防職員	1回当たり	300円
	上記業務のうち、救急救命士の資格を有する者に限定された行為に従事した消防職員	1回当たり	200円
	要救助者の救助作業に従事した消防職員	1回当たり	300円
	緊急時における大型緊急車両の運転に従事した消防職員	1回当たり	200円
	緊急時における大型以外の緊急車両の運転に従事した消防職員	1回当たり	100円
感染症防疫作業に従事した場合(1類、2類等)		1日	700円

区分	年度別	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	総 数	25	32	19	21	26	22	13
消防学校	幹 部 研 修 科	1	0	0	0	0	0	0
	上 級 幹 部 科	0	0	0	0	0	0	0
	警 防 科	0	0	0	0	1	0	0
	予 防 科	0	0	0	1	0	0	0
	救 急 科	0	0	0	0	0	0	0
	救 助 科	0	0	0	0	0	0	0
	火 災 調 査 科	0	0	0	0	0	0	0
	新 任 消 防 長 コ ー ス	0	0	0	0	1	1	1
	幹 部 科	0	0	0	0	0	0	0
消防学校	初 任 教 育	3	6	1	1	3	2	2
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	2	2	2	2	1	1
		中 級 幹 部 科	1	2	2	2	2	1
		上 級 幹 部 科	0	0	0	0	0	0
	専 科 教 育	警 防 科	2	2	2	2	2	1
		予 防 科	2	1	2	2	2	0
		火 災 調 査 科	2	2	2	2	2	1
		救 急 科	3	6	1	1	3	2
		救 助 科	3	3	2	2	2	1
		特 殊 災 害 科	0	0	1	1	1	0
	特 別 教 育	二 次 救 命 处 置 講 習	0	0	0	0	0	0
		気 管 挿 管 講 習	0	0	0	0	0	0
		外 傷 初 療 研 修	0	0	0	0	0	0
		薬 剤 投 与 講 習	0	0	0	0	0	0
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	4	2	0	0	0	0
		ショックへの輸液・ブドウ糖投与講習	0	0	0	0	0	0
		ブ ラ ッ シ ュ ア ッ プ 研 修	0	4	2	2	2	2
		通 信 指 令 研 修	0	0	0	2	2	1
		実 火 災 体 験 型 訓 練 研 修	0	0	0	2	4	2
救急救命士	救 急 救 命 士 養 成 課 程	2	2	2	1	1	2	1
	指 導 救 命 士 養 成 研 修	0	1	0	0	0	0	0

13 消防職員各種免許資格取得状況

(令和7年4月1日現在)

階級別 区分		計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
自動車運転免許	大型車	71	0	19	14	20	14	4
	中型車	3	1	1	0	1	0	0
	準中型車	11	0	0	0	0	1	10
	普通車	3	0	0	0	0	0	3
	大型特殊	6	0	2	3	1	0	0
	けん引	6	0	4	2	0	0	0
	自動二輪	33	0	10	9	12	1	1
危険物取扱者甲種		1	0	1	0	0	0	0
危険物取扱者乙種		36	0	8	9	14	5	0
消防設備士甲種		1	0	1	0	0	0	0
消防設備士乙種		4	0	2	1	1	0	0
火薬類保安責任者		0	0	0	0	0	0	0
特殊無線技士		81	0	20	14	21	15	11
航空特殊無線技士		3	0	0	2	1	0	0
ボイラー技士		4	0	3	0	0	0	1
アセチレンガス溶接士		2	0	2	0	0	0	0
電気工事士		5	0	1	1	2	1	0
建築士		1	0	0	1	0	0	0
毒劇物取扱者		5	0	1	3	1	0	0
小型船舶操縦士		15	0	6	3	3	2	1
潜水士		5	0	3	0	2	0	0
応急手当指導員		74	0	13	14	21	15	11
移動式クレーン技能		40	0	15	11	13	0	1
玉掛け技能		39	0	15	11	13	0	0
高所作業技能		7	0	4	2	1	0	0
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		7	0	2	3	2	0	0
救急救命士		36	0	11	6	12	5	2
小型建設機械		3	0	1	1	0	0	1
車両系建設機械		1	0	1	0	0	0	0
フォークリフト		4	0	1	1	2	0	0
二等無人航空機操縦士		13	0	3	1	3	5	1
防火対象物点検資格者		1	0	1	0	0	0	0
予防技術資格者査察		13	0	3	3	4	3	0
予防技術資格者設備		5	0	1	1	2	1	0
予防技術資格者危険物		7	0	3	1	1	2	0
衛生推進者		11	0	9	0	2	0	0
防火管理者		1	0	1	0	0	0	0

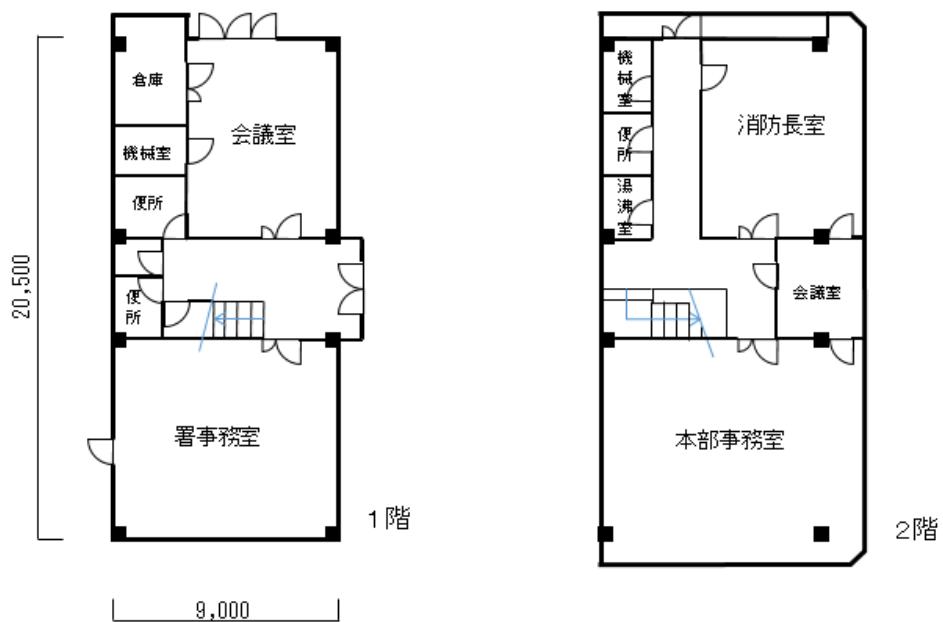
	累計	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	679	14		7	2	5		
消防庁長官表彰								
永年勤続功労章	31			2				
岡山県知事表彰								
永年勤続功労章	34	1		1				
日本消防協会長								
功績章	15			1				
精績章	31	1		1				
勤続章	68	5		5				
岡山県消防協会長								
功労章	35	1		1				
表彰章	48	1		1				
精勤章	80	2			2			
全国消防長会長								
永年勤続40年表彰	21							
永年勤続35年表彰	17							
永年勤続30年表彰	62							
永年勤続25年表彰	55							
永年勤続20年表彰	65							
全消会中国支部長								
永年勤続15年表彰	88	5				5		
備中地区消防連絡								
協議会長表彰	44	1		1				

15 消防庁舎の現況

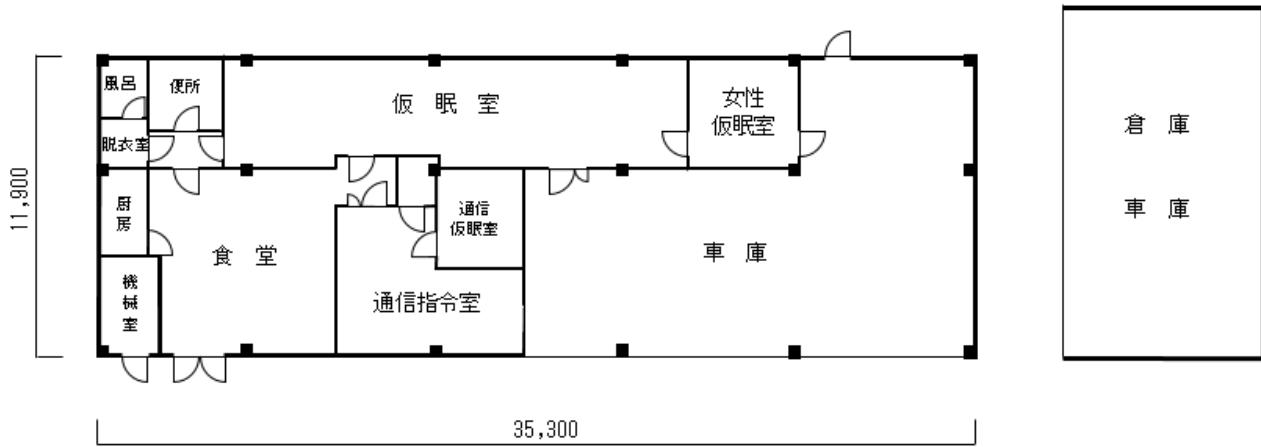
名 称	所 在 地	建 築 年 月 日	構 造 ・ 面 積	敷 地 面 積
消防本部 新見市消防署	新見市新見312番地2	昭和51年 2月 6日	鉄筋コンクリート造2階建て 延べ面積 397.13 m ²	2,082.00 m ²
		昭和57年 4月 30日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 420.07 m ²	
		昭和61年 3月 31日	鉄骨ブロック造平屋建て 延べ面積 117.79 m ²	
大佐分署	新見市大佐小阪部 1327番地1	平成9年 3月 26日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 270.06 m ²	1,289.69 m ²
神郷分署	新見市神郷釜村 1187番地1	平成14年 3月 30日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 267.52 m ²	1,274.31 m ²
哲多分署	新見市哲多町矢戸 701番地2	平成16年 3月 22日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 268.00 m ²	816.95 m ²
哲西分署	新見市哲西町矢田 2559番地4	平成15年 2月 28日	鉄筋コンクリート造平屋建て 延べ面積 268.25 m ²	1,281.29 m ²

庁舎平面図

本部

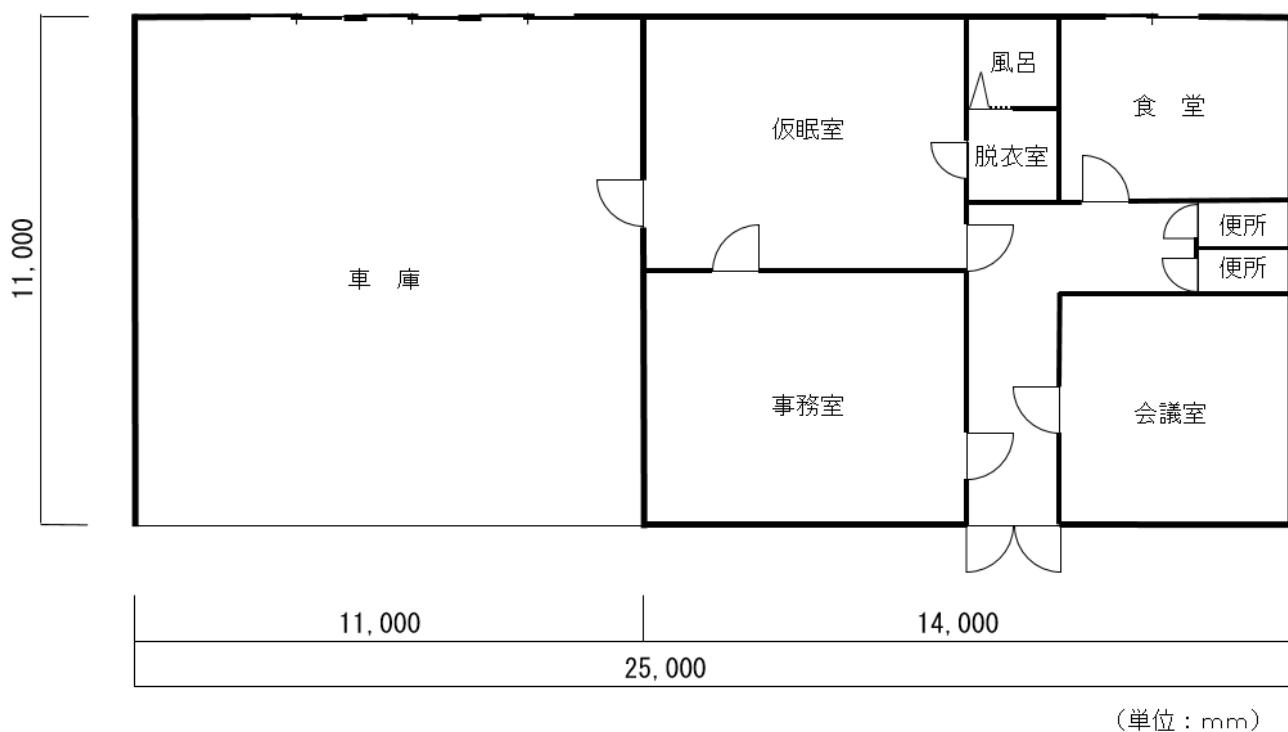


本署

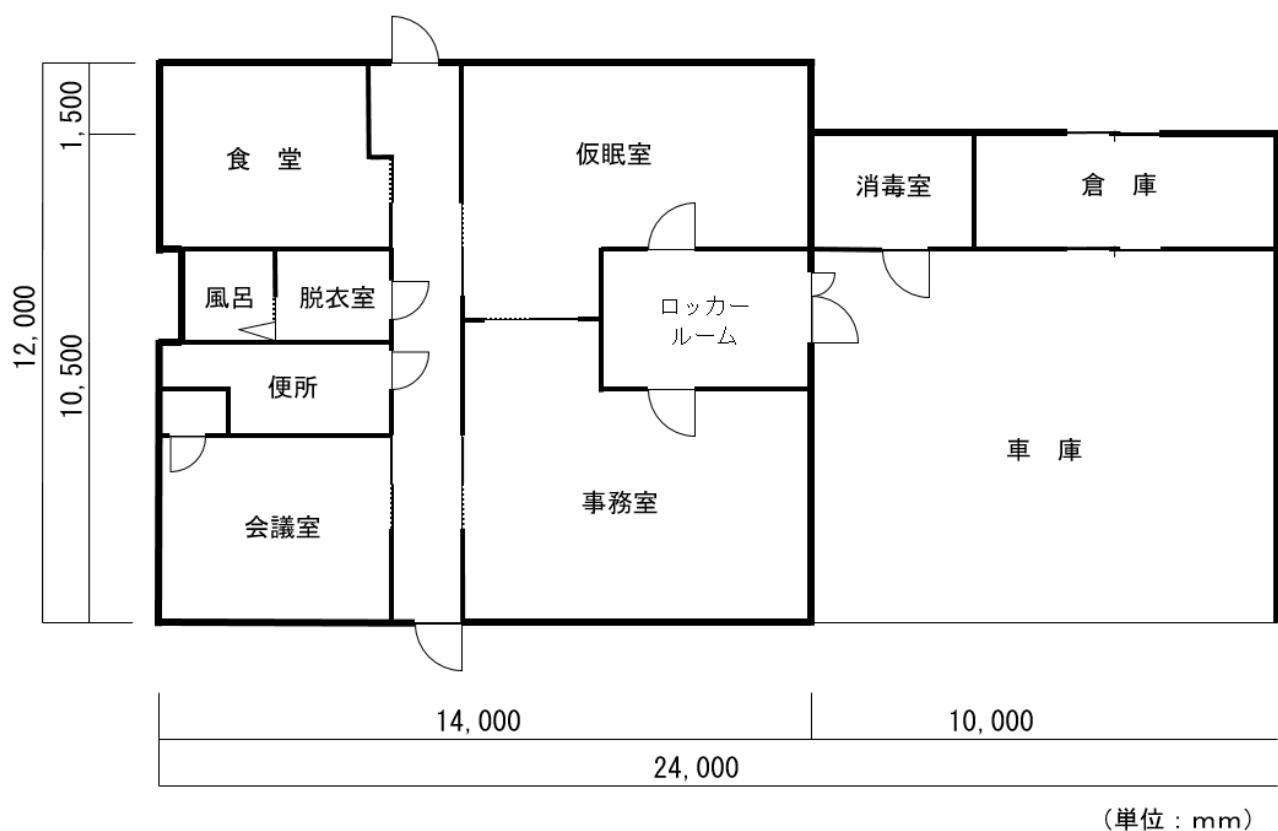


(単位: mm)

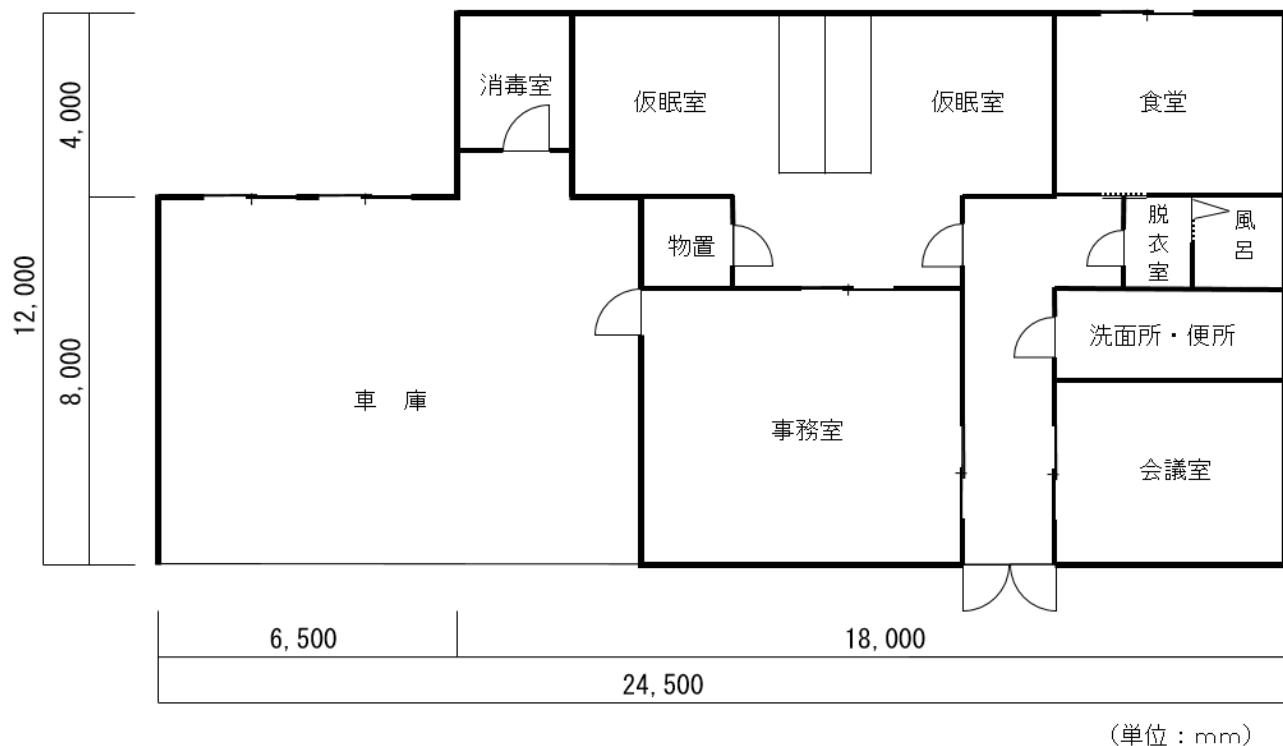
大佐分署



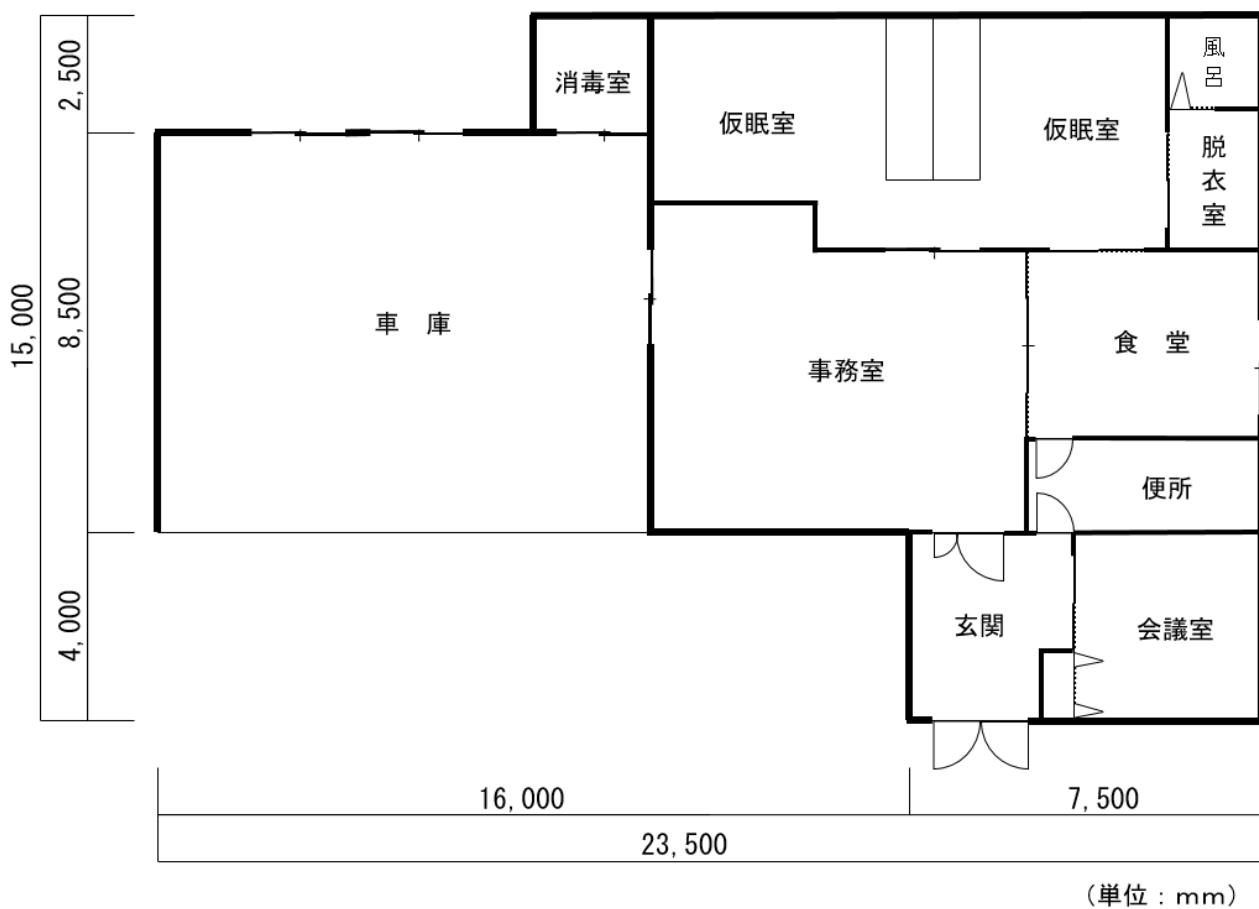
神郷分署



哲多分署



哲西分署



予 防

予 防

1 一般予防

(1) 火災予防条例等に基づく各種届出事務処理状況

(令和6年度) (単位: 件)

届出種別	火を使用する設備	変電設備	発電設備	蓄電池設備	アセチレンガス	水素ガス	少量危険物貯蔵	指定可燃物貯蔵	火災とまぎらわしい行為の届	煙火打上	道路工事占	催物開催	防火対象物使用	防火管理者選解任	消防防訓計画	消防訓練通知	総数
	設置届	設置届	設置届	設置届	等	ガス	設置届	取扱届	届	げ	用届	届	用開始届	届	届	届	届
件数	9	4	4	10	1	0	8	2	575	33	426	2	8	57	43	173	1355

(2) 広報活動等実施状況

(令和6年度) (単位: 回、件)

区分	広報活動											広聴事務処理	
	防火講習会	避難通報消火訓練	防災訓練	地震体験車による地震体験	消防フェア	幼一少年消防クラブ	署・署内見学	一般住宅防火診断	一日消防署長	救急講習会	職場体験学習		
回・件数	7	137	4	12	1	1	32	192	1	70	5	435	10

(3) 防火対象物件数、予防査察実施状況

(令和6年度) (単位:件)

防火対象物種別		法第8条該当防火対象物数	法第8条の2の2該当防火対象物数	法第17条該当防火対象物数	予防査察件数
総数		217	16	805	154
1項	イ 劇場の類	0	0	0	0
	ロ 集会場の類	32	1	4	26
2項	イ キャバレーの類	0	0	0	0
	ロ 遊技場の類	1	1	0	1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0	0	0	0
	ニ カラオケボックス等	0	0	0	0
3項	イ 待合の類	0	0	0	0
	ロ 飲食店	17	0	5	5
4項	百貨店の類	20	4	21	4
5項	イ 旅館の類	4	0	4	1
	ロ 共同住宅の類	4	0	145	6
6項	イ 病院の類	8	1	8	4
	ロ 福祉施設の類	22	0	0	4
	ハ 保育園・老人デイサービスセンターの類	20	0	15	6
	ニ 幼稚園の類	0	0	0	0
7項	各種学校の類	19	0	6	35
8項	図書館の類	3	0	0	1
9項	イ サウナ等の公衆浴場類	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場類	2	0	0	0
10項	車両等の停車場の類	0	0	0	0
11項	社寺の類	3	0	15	1
12項	イ 工場の類	9	0	183	11
	ロ 映画等スタジオの類	0	0	0	0
13項	イ 自動車車庫の類	2	0	27	0
	ロ 飛行機等の格納庫類	0	0	0	0
14項	倉庫	5	0	87	7
15項	前各項に該当しない事業所	15	0	186	8
16項	イ 特定用途の複合防火対象物	28	9	41	23
	ロ イ以外の複合防火対象物	3	0	48	1
16項の2	地下街	0	0	0	0
16項の3	準地下街	0	0	0	0
17項	重要文化財の類	0	0	10	10
18項	アーケード	0	0	0	0

(注) 法第8条 防火管理者を必要とする対象物

(注) 法第8条の2の2 防火対象物点検報告を必要とする対象物

(注) 法第17条 消防用設備等の設置を必要とする対象物(法第8条該当防火対象物を含まない)

(4) 消防用設備等設置状況

(令和6年度) (単位: 設備)

政令の設備	設備の内訳	設置数
消火設備	屋内消火栓設備	80
	屋外消火栓設備	10
	スプリンクラー設備	26
	泡消火設備	1
	ハロゲン化物消火設備	0
	粉末消火設備	4
警報設備	自動火災報知設備	463
	非常警報設備	211
避難設備	避難器具	27
	誘導灯	307

(5) 中高層建築物の状況

(令和6年度) (単位: 棟)

階別	総数	3階	4階	5階	6階	7階以上
棟数	202	142	35	23	2	0

(6) 自主防災組織の現況

(令和7年4月1日現在) (単位: 団体、人)

区分 市別	女性防火クラブ		少年消防クラブ		幼年消防クラブ		計	
	組織数	人員	組織数	人員	組織数	人員	組織数	人員
新見市	15	528	0	0	10	473	25	1,001

2 建 築

(1) 過去5年間の建築同意等事務処理件数

(単位:件)

年 度 別	確 認 申 請	計 画 通 知	確認申請受理通知	計
令 和 2 年 度	46	0	29	75
令 和 3 年 度	18	1	25	44
令 和 4 年 度	24	3	27	54
令 和 5 年 度	12	5	13	30
令 和 6 年 度	8	3	21	32

(2) 建築同意等事務処理件数

(令和6年度) (単位:件)

区 分	確 認 申 請	計 画 通 知	確認申請受理通知	計
同 意 ・ 通 知	8	3	21	32
条 件 付 同 意	0	0	0	0
不 同 意	0	0	0	0
計	8	3	21	32

(3) 建築同意等の構造別事務処理状況

(令和6年度) (単位:件)

区 分	種 別	耐 火	準 耐 火	そ の 他	計
		件 数	件 数	件 数	件 数
確 認 申 請・計 画 通 知		1	0	10	11
確 認 申 請 受 理 通 知		0	0	21	21
計		1	0	31	32

(4) 建築同意等の工事種別事務処理状況

(令和6年度) (単位:件)

区 分	種 別	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計
		件 数	件 数	件 数	件 数	件 数
確 認 申 請・計 画 通 知		6	4	0	1	11
確 認 申 請 受 理 通 知		20	1	0	0	21
計		26	5	0	1	32

(5) 建築同意等の用途別事務処理状況

(令和6年度) (単位:件)

用途	件数
総数	11
劇場・映画館・観覧場	0
公会堂又は集会場	0
キャバレー・カフェ・ナイトクラブ類	0
遊技場又はダンスホール	0
性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0
カラオケボックス等	0
待合・料理店	0
飲食店	0
百貨店又はマーケット	0
旅館・ホテル	0
下宿・寄宿舎又は共同住宅	3
病院・診療所・助産所	2
各種福祉施設	0
保育園・老人デイサービスセンター	0
幼稚園・盲ろう学校	0
小・中・高等学校・大学・各種学校	0
図書館・美術館	0
サウナ等の公衆浴場	0
その他の公衆浴場	0
停車場又は発着場	0
神社・寺院・教会	0
工場又は作業場	1
スタジオ	0
車庫又は駐車場	1
飛行機等の格納庫	0
倉庫	0
各項に該当しない事業場	2
特定用途を含む複合	0
上記以外の複合	0
一般住宅	2
準住宅・併用住宅	0
その他	0

(6) 消防用設備等届出及び検査状況

(令和6年度) (単位:件)

区分		着工届	設置届	検査済
種別				
総 数		18	44	14
消 火 設 備	消 火 器	1	5	0
	屋 内 消 火 栓	1	1	0
	ス プ リ ン ク ラ 一	1	1	1
	水 噴 霧	0	0	0
	泡	0	0	0
	二 酸 化 炭 素	0	0	0
	ハ 口 ゲ ン 化 物	0	0	0
	粉 末	0	0	0
	屋 外 消 火 栓	0	0	0
	動 力 消 防 ポ ン プ	1	1	1
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知	12	17	10
	漏 電 火 災 警 報 器	0	0	0
	消防機関へ通報する設備	0	0	0
	非 常 警 報 設 備	0	1	0
避 難 設 備	避 難 器 具	0	1	0
	誘 導 灯	2	17	2
消 防 用 水	消 防 用 水	0	0	0
必 消 要 火 な 活 施 動 設 上	排 煙 設 備	0	0	0
	連 結 散 水	0	0	0
	連 結 送 水	0	0	0
	非 常 コ ン セ ン ト	0	0	0
	無 線 通 信 補 助 設 備	0	0	0
非常電源	專 用 受 電 設 備	0	0	0
	自 家 発 電 設 備	0	0	0
	蓄 電 池 設 備	0	0	0

3 危険物

(1) 過去5年間の施設数の状況

(単位: 件)

種別 年度別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所						事 業 所 の 数
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
R2	233	0	131	12	4	29	5	40	0	41	102	59	1	0	0	42	79
3	229	0	129	11	4	29	5	38	0	42	100	59	1	0	0	40	78
4	228	0	127	11	4	29	5	36	0	42	101	59	1	0	0	41	78
5	225	0	125	11	4	29	5	35	0	41	100	58	1	0	0	41	74
6	223	0	121	10	4	29	5	32	0	41	102	58	1	0	0	43	76

(2) 数量別危険物施設状況

(令和7年4月1日現在) (単位: 件)

数量別 区分		総 数	5 倍 以下	5 倍 を超 え 10 倍 以下	10 倍 を超 え 50 倍 以下	50 倍 を超 え 100 倍 以下	100 倍 を超 え 150 倍 以下	150 倍 を超 え 200 倍 以下	200 倍 を超 え 1000 倍 以下	1000 倍 を超 え 5000 倍 以下	5000 倍 を超 え 10000 倍 以下	10000 倍 を超 え る もの
総 数	製 造 所		223	91	36	55	23	10	3	5	0	0
貯 蔵 所	小 計	121	71	19	23	7	1	0	0	0	0	0
	屋 内 貯 蔵 所	10	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0
	屋 外 貯 蔵 所	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	29	6	9	10	4	0	0	0	0	0	0
	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	地 下 タン ク 貯 蔵 所	32	18	5	5	3	1	0	0	0	0	0
	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取 扱 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	41	36	2	3	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	102	20	17	32	16	9	3	5	0	0	0
	給 油 取 扱 所	58	3	8	15	15	9	3	5	0	0	0
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移 送 取 扱 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般 取 扱 所		43	17	8	17	1	0	0	0	0	0	0

(3) 危険物類別施設状況

(令和7年4月1日現在) (単位:施設)

施設区分	種別	総数	単独						混在
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
総数	総数	223	0	0	0	223	0	0	0
製造所	製造所	0	0	0	0	0	0	0	0
貯蔵所	屋内貯蔵所	10	0	0	0	10	0	0	0
	屋外貯蔵所	4	0	0	0	4	0	0	0
	屋外タンク貯蔵所	29	0	0	0	29	0	0	0
	屋内タンク貯蔵所	5	0	0	0	5	0	0	0
	地下タンク貯蔵所	32	0	0	0	32	0	0	0
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0	0	0	0	0
	移動タンク貯蔵所	41	0	0	0	41	0	0	0
取扱所	給油取扱所	58	0	0	0	58	0	0	0
	第1種販売取扱所	1	0	0	0	1	0	0	0
	第2種販売取扱所	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送取扱所	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般取扱所	43	0	0	0	43	0	0	0

(4) 危険物施設入検査の状況

(令和6年度) (単位:施設、回)

区分		施設数	検査施設数	延回数
総 数		223	63	63
製 造 所		0	0	0
貯 蔵 所	小 計	121	40	40
	屋 内 貯 蔵 所	10	3	3
	屋 外 貯 蔵 所	4	1	1
	屋 外 タンク貯蔵所	29	15	15
	屋 内 タンク貯蔵所	5	1	1
	地 下 タンク貯蔵所	32	8	8
	簡 易 タンク貯蔵所	0	0	0
	移 動 タンク貯蔵所	41	12	12
取 扱 所	小 計	102	23	23
	給 油 取 扱 所	58	6	6
	第 1 種 販 売 取 扱 所	1	0	0
	第 2 種 販 売 取 扱 所	0	0	0
	移 送 取 扱 所	0	0	0
	一 般 取 扱 所	43	17	17

（5）危險物施設等事務處理狀況

(令和6年度) (単位: 件)

4 煙火消費許可

過去 5 年間煙火消費許可件数

(単位：件)

年 度	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
許 可 件 数	3	8	12	14	12

5 高圧ガス

(1) 第一種製造者及び第二種製造者数

(単位：事業所)

年度		令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
第一種製造者	一般則	0	1	1	1	1
	L P 則	2	2	2	2	2
	一般・L P 則	0	0	0	0	0
	合 計	2	3	3	3	3
	冷凍則	1	1	1	1	1
第二種製造者	一般則	4	4	4	4	4
	L P 則	0	0	0	0	0
	一般・L P 則	0	0	0	0	0
	合 計	4	4	4	4	4
	冷凍則	8	8	8	8	8

(2) 販売業者、貯蔵所数

(単位：事業所)

年度		令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
販売業者	一般則	21	21	21	21	21
	L P 則	0	0	0	0	0
	一般・L P 則	0	0	0	0	0
	合 計	21	21	21	21	21
	冷凍則	0	0	0	0	0
一種貯蔵所	一般則	0	0	0	0	1
	L P 則	0	0	1	1	1
	一般・L P 則	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	1	1	2
二種貯蔵所	一般則	2	2	2	2	2
	L P 則	0	0	0	0	0
	一般・L P 則	0	0	0	0	0
	合 計	2	2	2	2	2

(3) 特定高圧ガス消費者及び登録容器検査所数

(単位：事業所)

種別		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
特定高圧ガス消費者	一般則	2	2	2	2	2	2
	L P 則	0	0	0	0	0	0
	一般・L P 則	0	0	0	0	0	0
	合 計	2	2	2	2	2	2
登録容器検査所数		0	0	0	0	0	0

※ 一般則：一般高圧ガス保安規則をいう。

L P 則：液化石油ガス保安規則をいう。

冷凍則：冷凍保安規則をいう。

警 防

警 防

1 消防力の現況

(令和7年4月1日現在)

区分 署所名	署 所	消 防 職 員	普通 消 防 ポン プ 自 動 車	水槽付 消 防 ポン プ 自 動 車	化 学 消 防 自 動 車	救 助 工 作 車	は し ご 付 消 防 自 動 車	救 急 自 動 車	無線電話		
									基 地 局	固 定 局	移 動 局
消防力の整備指針	4	120	5	1	1	1	1	6	0	0	0
現 有 計	5	85	4	3	0	1	0	7	6	2	72
消防本部・署	1	49	1	2	0	1	0	3	2	2	40
大佐分署	1	9	1	0	0	0	0	1	2	0	8
神郷分署	1	9	1	0	0	0	0	1	1	0	8
哲多分署	1	9	0	1	0	0	0	1	0	0	8
哲西分署	1	9	1	0	0	0	0	1	1	0	8

2 消防出動状況

(令和6年中) (単位:回、人)

計		火 災		救急業務		救助業務		風水害の災害		演習訓練		広報・指導	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
2,629	7,932	9	120	1,717	4,993	33	151	1	3	42	202	192	545

警防調査		原因調査		特別警戒		搜 索		予防查察		誤 報 等		そ の 他	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
364	1,082	9	41	8	13	3	50	98	315	20	65	133	352

3 消防装備（本部・署自動車等配置状況）

(令和7年4月1日現在)

所 属	車両別	名 称	登録番号	車 名	定員	年 式	購入年月	原動機性能		ポンプ性能		無 線		備 考
								気筒数	排気量	級 別	規格放水量	出 力	呼出名称	
	予防指導車		岡山 100 す 7839	マツダ	3	平成21	平成21.8	4	1,990cc					
	本 部 車		岡山 500 の 562	トヨタ	5	平成13	平成13.1	4	1,790cc					
	団 活 動 車	新見団指揮1号車	岡山 880 あ 443	ダイハツ	4	平成20	平成20.2	3	650cc			5W	にいみだんしき1	
	団 活 動 車	新見団指揮2号車	岡山 800 せ 4240	トヨタ	10	令和6	令和6.2	4	2,690cc			5W	にいみだんしき2	
	多 機能 車	団 積 載 車	岡山 800 す 5864	イスズ	6	平成22	平成22.3	4	2,990cc					
消 防 署	救 急 車	新見救急1号車	岡山 800 せ 2513	ニッサン	7	令和 3	令和3.2	4	2,480cc			5W	にいみきゅうきゅう1	
	救 急 車	新見救急2号車	岡山 800 せ 3103	ニッサン	7	令和 4	令和4.3	4	2,480cc			5W	にいみきゅうきゅう2	
	救 急 車	新見救急3号車	岡山 800 せ 1439	ニッサン	7	平成31	平成31.3	4	2,480cc			5W	にいみきゅうきゅう3	
	消 防 車	新見ポンプ1号車	岡山 800 す 4371	ヒノ	5	平成20	平成20.2	4	4,000cc	A2	2.35m³/min	5W	にいみぽんぷ1	
	消 防 車	新見特消1号車	岡山 800 は 1884	ヒノ	6	令和 5	令和5.1	8	5,120cc	A2	2.53m³/min	5W	にいみとくしょう1	薬液40ℓ 水槽900ℓ
	タンク車	新見タンク1号車	岡山 800 は 1338	ヒノ	6	平成24	平成24.12	6	6,400cc	A2	2.22m³/min	5W	にいみたんく1	薬液60ℓ 水槽2,000ℓ
	救助工作車	新見救助1号車	岡山 800 は 1228	ヒノ	6	平成22	平成22.6	6	6,400cc			5W	にいみきゅうじょ1	
	資機材搬送車	新見搬送1号車	岡山 800 せ 4887	イスズ	3	令和 7	令和7.3	6	2,990cc			5W	にいみはんそう1	
	支援車	新見支援1号車	岡山 880 あ 1699	スズキ	4	平成29	平成29.8	3	650cc			5W	にいみしえん1	
	連絡車	ハイエース	岡山 300 ほ 1631	トヨタ	10	平成17	平成17.3	4	2,690cc					
	連絡車	ハイゼット	岡山 480 せ 8313	ダイハツ	4	平成26	平成26.7	3	650cc					
	連絡車	ミーヴ	岡山 584 き 213	ミツビシ	4	平成21	平成21.12	4	25.0kw					
大 佐 分 署	消 防 車	大佐ポンプ1号車	岡山 800 せ 2016	ヒノ	5	令和 2	令和2.3	6	4,000cc	A2	2.23m³/min	5W	おおさぽんぷ1	
	救 急 車	大佐救急1号車	岡山 800 す 5557	トヨタ	7	平成21	平成21.11	4	2,690cc			5W	おおさききゅうきゅう1	
神 郷 分 署	消 防 車	神郷ポンプ1号車	岡山 88 せ 1828	ミツビシ	6	平成 9	平成9.12	4	4,560cc	A2	2.26m³/min	5W	しんごうぽんぷ1	
	救 急 車	神郷救急1号車	岡山 800 す 9317	ニッサン	8	平成27	平成27.11	4	2,500cc			5W	しんごうきゅうきゅう1	
哲 多 分 署	消 防 車	哲多ポンプ1号車	岡山 800 す 5717	ヒノ	5	平成22	平成22.1	6	4,000cc	A2	2.35m³/min	5W	てつたぽんぷ1	薬液60ℓ 水槽600ℓ
	救 急 車	哲多救急1号車	岡山 800 せ 558	ニッサン	7	平成29	平成29.11	6	3,490cc			5W	てつたきゅうきゅう1	
哲 西 分 署	消 防 車	哲西ポンプ1号車	岡山 800 さ 1440	ミツビシ	6	平成11	平成11.3	6	4,560cc	A2	2.23m³/min	5W	てっせいぽんぷ1	
	救 急 車	哲西救急1号車	岡山 800 せ 3104	ニッサン	7	令和 4	令和4.3	4	2,480cc			5W	てっせいきゅうきゅう1	

4 有線通信施設

本 部、署

(令和7年4月1日現在)

種 別	回線数	備 考
119 番 受 付	12 (うち4回線は移動体)	新見(2), 大佐, 神郷, 哲多, 哲西, IP(2) ドコモ, au, ソフトバンク, 楽天モバイル
加 入 電 話	4	新見局(0867) 72-2810 (代)
直 通 電 話	8	新見市役所(2), 中国自動車道マイクロ電話, 各分署 県防災(4)

大佐分署

加 入 電 話	1	大佐局(0867) 98-2131
直 通 電 話	1	マイクロ電話

神郷分署

加 入 電 話	1	神郷局(0867) 93-5012
直 通 電 話	1	マイクロ電話

哲多分署

加 入 電 話	1	哲多局(0867) 96-2131
直 通 電 話	1	マイクロ電話

哲西分署

加 入 電 話	1	哲西局(0867) 94-2103
直 通 電 話	1	マイクロ電話

5 無線通信施設

(令和7年4月1日現在)

防災行政通信ネットワークの衛星系	6335
------------------	------

基地局

区 分 種 別	設 置 場 所	呼 出 名 称	空 中 線 電 力	所 属
基地局(マイクロ多重無線設備)	鳶ヶ巣山	しょうぼうとびがすやま	20W	新見市消防署
基地局(マイクロ多重無線設備)	佐武佐山	しょうぼうさぶさやま	20W	新見市消防署
基 地 局	大 佐 分 署	しょうぼうおおさ	10W	新見市消防署
基 地 局	新 見 市 大 佐 大 井 野	しょうぼうおおいの	10W	新見市消防署
基 地 局	新 見 市 千 屋 花 見	しょうぼうちや	10W	新見市消防署
基 地 局	哲 西 分 署	しょうぼうてっせい	10W	新見市消防署

固定局・移動局

(車載はデュアルバンド)

区分 種別	設置場所	呼出名称	空中線電力	所属
固定局	新見市消防署	にいみしょうぼう	250mW	新見市消防署
固定局	鳶ヶ巣山	しょうぼうとびがすやま	250mW	新見市消防署
移動局（卓上）	新見市消防署	にいみしょうぼう	5W	新見市消防署
移動局（卓上）	大佐分署	おおさしょうぼう	5W	大佐分署
移動局（卓上）	神郷分署	しんごうしょうぼう	5W	神郷分署
移動局（卓上）	哲多分署	てつたしょうぼう	5W	哲多分署
移動局（卓上）	哲西分署	てっせいしょうぼう	5W	哲西分署
移動局（車載）	救急車	にいみきゅうきゅう 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	救急車	にいみきゅうきゅう 2	5W	新見市消防署
移動局（車載）	救急車	にいみきゅうきゅう 3	5W	新見市消防署
移動局（車載）	消防車	にいみぽんぷ 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	タンク車	にいみたんく 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	MVF	にいみとくしょう 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	救助工作車	にいみきゅうじょ 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	資機材搬送車	にいみはんそう 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	団活動車	にいみだんしき 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	団活動車	にいみだんしき 2	5W	新見市消防署
移動局（車載）	支援車	にいみしえん 1	5W	新見市消防署
移動局（車載）	消防車	おおさぽんぷ 1	5W	大佐分署
移動局（車載）	救急車	おおさきゅうきゅう 1	5W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 101	2W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 102	2W	大佐分署
移動局（車載）	消防車	しんごうぽんぷ 1	5W	神郷分署
移動局（車載）	救急車	しんごうきゅうきゅう 1	5W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	しんごう 101	2W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	しんごう 102	2W	神郷分署
移動局（車載）	消防車	てつたぽんぷ 1	5W	哲多分署
移動局（車載）	救急車	てつたきゅうきゅう 1	5W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	てつた 101	2W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	てつた 102	2W	哲多分署
移動局（車載）	消防車	てっせいぽんぷ 1	5W	哲西分署
移動局（車載）	救急車	てっせいきゅうきゅう 1	5W	哲西分署

移動局（携帯）	哲西分署	てつせい 101	2W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てつせい 102	2W	哲西分署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 101	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 102	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 103	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 104	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 105	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 106	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 107	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 108	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみ 109	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみしき 110	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	にいみしき 111	2W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	しき 20	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	しき 30	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 1	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 2	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 3	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 4	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 5	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 6	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 7	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 8	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 9	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 10	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 11	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 12	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 13	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 14	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 15	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	新見市消防署	ほんしょ 16	1W	新見市消防署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 1	1W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 2	1W	大佐分署
移動局（携帯）	大佐分署	おおさ 3	1W	大佐分署

移動局（携帯）	神郷分署	しんごう1	1W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	しんごう2	1W	神郷分署
移動局（携帯）	神郷分署	しんごう3	1W	神郷分署
移動局（携帯）	哲多分署	てつた1	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	てつた2	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲多分署	てつた3	1W	哲多分署
移動局（携帯）	哲西分署	てつせい1	1W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てつせい2	1W	哲西分署
移動局（携帯）	哲西分署	てつせい3	1W	哲西分署

6 火災統計

(1) 火災発生状況

(令和6年中)

(令和6年中)

区分	死傷者数		損害額(千円)						焼損面積等				
	死 者	負 傷 者	計	建物			林 野	車 両	そ の 他	建 物 床 面 (m ²)	建 物 表 面 (m ²)	林 野 (a)	車 両 (台)
				建 物	收 容 物	小 計							
令和2年	0	2	23,299	20,691	2,310	23,001	71	133	94	1,281.5	25.9	77.3	2
令和3年	0	4	8,289	5,234	2,678	7,912	1	0	376	643.1	10.6	14.3	0
令和4年	1	1	5,257	2,205	206	2,411	0	2,684	162	132.4	1.6	313.4	7
令和5年	1	1	5,139	518	273	791	60	4,288	0	53.1	0.0	99.8	5
令和6年	0	1	2,922	2,882	40	2,922	0	0	0	267.8	6.3	0.0	0
月別	1月	0	1	801	761	40	801	0	0	0	63.7	0.0	0.0
	2月	0	0	212	212	0	212	0	0	0	64.0	6.3	0.0
	3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	5月	0	0	1,213	1,213	0	1,213	0	0	0	120.1	0.0	0.0
	6月	0	0	696	696	0	696	0	0	0	20.0	0.0	0.0
	7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
地区別	新見	1	1	1,497	1,457	40	1,497	0	0	0	83.7	0.0	0.0
	大佐	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	神郷	0	0	212	212	0	212	0	0	0	64.0	6.3	0.0
	哲多	0	0	1,213	1,213	0	1,213	0	0	0	120.1	0.0	0.0
	哲西	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0

(2) 原因別火災発生状況

(令和6年中)

出火原因	件数	焼損面積等				損害額(千円)
		床(m ²)	表面(m ²)	林野(a)	車両(台)	
たき火	3	120.1	0	0	0	1,213
その他	3	64.0	6.3	0	0	212
配線器具	1	63.7	0	0	0	801
火入れ	1	0	0	0	0	0
焼却炉	1	20.0	0	0	0	696
総計	9	267.8	6.3	0	0	2,922

(3) 出火原因別(発火源・経過・着火物)発生状況

(令和6年中)(単位:件)

発火源		経過		着火物	
たき火	3	火源が動いて接触する	3	枯草	3
プラグ	1	金属の接続部が過熱する	1	枯草(生えたまま枯れたもの)	2
枯れ草焼き	1	伝導過熱する	1	電気被類	1
ごみ焼却炉の火の粉	1	残り火の処置が不十分	1	柱	1
その他の高温で熱されたもの	1	静電気スパークが飛ぶ	1	第一石油類	1
その他の静電気スパーク	1	火花が飛ぶ	1	不明	1
エンジンカッターの火花	1	その他	1		

(4) 時間別、曜日別、覚知別発生状況

(令和6年中)(単位:件)

(イ) 時間別

区分 時間別	火災種別件数				
	総 数	建 物	林 野	車 両	その 他
総 数	9	5	0	0	4
0 ~ 1	0	0	0	0	0
1 ~ 2	0	0	0	0	0
2 ~ 3	0	0	0	0	0
3 ~ 4	0	0	0	0	0
4 ~ 5	0	0	0	0	0
5 ~ 6	2	2	0	0	0
6 ~ 7	0	0	0	0	0
7 ~ 8	0	0	0	0	0
8 ~ 9	0	0	0	0	0
9 ~ 10	1	1	0	0	0
10 ~ 11	1	0	0	0	1
11 ~ 12	2	1	0	0	1
12 ~ 13	1	0	0	0	1
13 ~ 14	0	0	0	0	0
14 ~ 15	1	1	0	0	0
15 ~ 16	0	0	0	0	0
16 ~ 17	1	0	0	0	1
17 ~ 18	0	0	0	0	0
18 ~ 19	0	0	0	0	0
19 ~ 20	0	0	0	0	0
20 ~ 21	0	0	0	0	0
21 ~ 22	0	0	0	0	0
22 ~ 23	0	0	0	0	0
23 ~ 24	0	0	0	0	0

(ロ) 曜日別

区分 曜日	火災種別件数				
	総 数	建 物	林 野	車 両	その 他
総 数	9	5	0	0	4
日	3	1	0	0	2
月	1	1	0	0	0
火	0	0	0	0	0
水	2	1	0	0	1
木	2	2	0	0	0
金	0	0	0	0	0
土	1	0	0	0	1

(ハ) 覚知別

区分 覚知別	火災種別件数				
	総 数	建 物	林 野	車 両	その 他
総 数	9	5	0	0	4
火災専用電話	8	4	0	0	4
加入電話	0	0	0	0	0
警察電話	0	0	0	0	0
駆け付け通報	0	0	0	0	0
事後聞知	1	1	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

7 月別火災出動及び使用機器状況

(令和6年中)

区分 月	火 災 件 数 (件)	出 動 回 数 (回)	出 動 人 員 (人)	使 用 機 器		使 用 木 一 ス (本)
				自 動 車 (台)	小木 型 シ ン 動 力 カ ブ (台)	
総 数	9	8	144	11	0	80
1 月	1	1	26	2	0	21
2 月	3	3	45	3	0	16
3 月	0	0	0	0	0	0
4 月	0	0	0	0	0	0
5 月	1	1	26	2	0	20
6 月	3	2	32	3	0	17
7 月	0	0	0	0	0	0
8 月	1	1	15	1	0	6
9 月	0	0	0	0	0	0
10 月	0	0	0	0	0	0
11 月	0	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0	0	0

8 主な火災の記録

年別	出火日時		用 途	出 火 場 所	出火原因	焼 損 面積等	損害額(千円)	死者	傷者
	月日	時分							
27	5月25日	23:27	共同住宅	新見市西方	不明	560	7,119	0	0
28	該当火災なし								
29	4月28日	11:28	特殊車両	新見市下熊谷	不明	0	10,196	0	0
	5月17日	10:31	住宅	新見市哲多町花木	不明	132	2,940	0	0
	12月18日	6:54	納屋	新見市大佐大井野	不明	514	6,040	0	0
30	3月23日	12:46	住宅	新見市神郷高瀬	不明	293	5,125	1	0
	3月26日	17:43	倉庫	新見市新見	その他	70	11,585	0	1
	4月26日	19:40	住宅	新見市新見	不明	154	4,599	0	2
	6月11日	16:43	住宅	新見市哲多町荻尾	かまど	382	5,531	0	0
令和元	5月4日	14:10	倉庫	新見市神郷高瀬	不明	123	1,387	0	0
	5月6日	12:41	住宅	新見市神郷油野	直接雷	145	2,129	0	0
2	1月12日	1:51	作業場	新見市大佐田治部	不明	341	3,537	0	0
	7月26日	14:50	置場	新見市神郷高瀬	不明	723	6,692	0	0
	12月1日	18:59	住宅	新見市新見	ストーブ	235	12,679	0	1
3	4月7日	15:58	倉庫	新見市豊永赤馬	たき火	177	1474	0	0
	6月9日	13:35	納屋	新見市坂本	不明	219	2228	0	0
	7月21日	16:31	住宅	新見市千屋花見	煙突・煙道	165	2,449	0	1
4	3月17日	14:20	普通林	新見市豊永宇山	不明	62	0	0	0
	4月13日	10:52	田んぼの畦	新見市哲多町蚊家	たき火	202.5	20	0	1
	11月28日	1:19	住宅	新見市金谷	不明	113.3	2,363	1	0
5	4月13日	12:09	林内 運搬車	新見市上市	排気管	70	3,383	0	0
6	5月26日	14:07	納屋	新見市哲多町花木	たき火	120	1,213	0	0

※本表は、建物で焼損面積100平方メートル以上、又は損害額501万円以上、林野で51アール以上の火災を記録した。

9 救急業務

(1) 救急出場状況

(単位:件、人)

区分	総数		火災		自然災害		水難		交通事故		労働災害	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
令和2年	1,533	1,440	14	2	0	0	0	0	74	65	23	22
令和3年	1,523	1,444	15	2	0	0	0	0	67	56	13	13
令和4年	1,609	1,522	11	1	0	0	0	0	78	72	18	18
令和5年	1,704	1,605	10	2	0	0	1	1	71	64	14	14
令和6年	1,717	1,632	8	1	0	0	2	2	63	61	19	18
月別	1月	156	146	1	1	0	0	0	2	2	1	0
	2月	129	119	3	0	0	0	0	1	1	1	1
	3月	120	117	0	0	0	0	0	5	4	2	2
	4月	129	126	0	0	0	0	0	4	3	1	1
	5月	162	152	1	0	0	0	0	6	6	0	0
	6月	130	124	2	0	0	0	0	4	4	2	2
	7月	141	138	0	0	0	0	0	5	5	0	0
	8月	166	157	1	0	0	0	2	2	11	9	3
	9月	136	130	0	0	0	0	0	5	5	3	3
	10月	147	140	0	0	0	0	0	7	9	2	2
	11月	144	142	0	0	0	0	0	6	6	1	1
	12月	157	141	0	0	0	0	0	7	7	3	3
署所別	本署	1,042	999	0	0	0	0	1	1	35	33	12
	大佐分署	215	205	1	0	0	0	0	9	9	2	1
	神郷分署	118	114	0	0	0	0	0	6	6	3	3
	哲多分署	125	112	2	0	0	0	1	1	8	8	0
	哲西分署	217	202	5	1	0	0	0	5	5	2	2

(単位:件、人)

区分	運動競技		一般負傷		加害事故		自損行為		急病		その他		
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	
令和2年	8	9	257	244	0	0	8	5	811	763	338	330	
令和3年	14	14	229	224	2	2	7	4	892	848	284	281	
令和4年	7	7	255	248	1	1	10	4	950	898	279	273	
令和5年	12	12	271	264	2	2	12	5	980	912	331	329	
令和6年	16	15	246	230	4	1	7	5	1,031	983	321	316	
月別	1月	0	0	22	21	1	1	0	0	100	92	29	29
	2月	0	0	16	16	0	0	1	0	87	81	20	20
	3月	0	0	15	14	0	0	0	0	76	75	22	22
	4月	1	1	19	19	0	0	0	0	77	76	27	26
	5月	2	2	18	16	0	0	0	0	99	92	36	36
	6月	2	2	28	26	0	0	1	1	71	69	20	20
	7月	3	3	20	18	0	0	2	2	81	81	30	29
	8月	1	1	17	15	0	0	0	0	102	99	29	28
	9月	3	3	24	23	0	0	1	1	78	73	22	22
	10月	2	2	25	24	0	0	2	1	79	74	30	28
	11月	2	1	17	16	0	0	0	0	88	88	30	30
	12月	0	0	25	22	3	0	0	0	93	83	26	26
署所別	本署	12	12	134	123	3	1	6	4	598	574	241	239
	大佐分署	1	0	39	39	0	0	0	0	147	140	16	16
	神郷分署	0	0	22	21	1	0	0	0	70	68	16	16
	哲多分署	2	2	15	14	0	0	0	0	89	81	8	6
	哲西分署	1	1	36	33	0	0	1	1	127	120	40	39

(2) 事故発生場所別・疾病程度別状況

(令和6年中)(単位:人)

事故種別 性別別 出場場所別 傷病程度別		総 数	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数		1,632	1	0	2	61	18	15	230	1	5	983	316
性 別	男	892	1	0	2	38	17	10	125	1	2	514	182
	女	740	0	0	0	23	1	5	105	0	3	469	134
出 場 場 所	新見	1,085	1	0	2	45	13	12	129	1	4	596	282
	大佐	160	0	0	0	7	1	0	30	0	0	118	4
	神郷	82	0	0	0	3	2	0	18	0	0	57	2
	哲多	128	0	0	0	2	0	2	23	0	0	99	2
	哲西	157	0	0	0	2	1	1	24	0	1	102	26
	中国自動車道	7	0	0	0	2	1	0	1	0	0	3	0
	その他の管轄外	13	0	0	0	0	0	0	5	0	0	8	0
傷 病 程 度	死亡	49	0	0	1	3	1	0	6	0	1	37	0
	重症	186	0	0	0	8	4	0	45	0	1	74	54
	中等症	1,122	0	0	1	28	8	7	122	0	1	700	255
	軽症	275	1	0	0	22	5	8	57	1	2	172	7
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 応急処置別状況

(令和6年中)(単位:回)

応急処置 事故種別		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	血 压 測 定	心 呼 吸 音	血 中 酸 素
総 数		47	91	48	44	435	51	82	64	1,564	917	1,580
急 病		2	9	35	33	302	37	40	2	931	621	945
交通事故		6	25	3	3	14	3	2	8	58	49	58
一般負傷		34	40	5	4	25	6	23	45	222	94	223
上記以外		5	17	5	4	94	5	17	9	353	153	354

応急処置 事故種別		心 電 図	繼 在 宅 療 法	除 細 動	気 管 挿 管	ン ド レ ナ リ	C 静 脈 P 路 確 保	C 静 脈 P 路 確 前 保	血 糖 測 定	投 ブ ド ウ	投 工 ピ ペ	そ の 他
総 数		855	26	2	8	15	18	8	21	2	0	92
急 病		595	24	2	6	12	14	1	18	2	0	67
交通事故		33	0	0	0	1	1	2	0	0	0	3
一般負傷		61	1	0	2	1	2	4	2	0	0	3
上記以外		166	1	0	0	1	1	1	1	0	0	19

(4) 曜日別出場件数

(令和6年中)(単位:件)

事故種別 曜日	総数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	転院搬送	医師搬送	資器材搬送
総数	1,717	8	0	2	63	19	16	246	4	7	1,031	2	316	3	0
日曜	241	2	0	0	8	3	6	38	2	0	147	1	34	0	0
月曜	261	1	0	0	11	0	1	38	0	1	157	0	52	0	0
火曜	279	0	0	0	11	4	1	40	0	1	156	1	64	1	0
水曜	238	2	0	2	11	3	4	33	0	3	135	0	45	0	0
木曜	239	1	0	0	6	2	2	25	0	0	149	0	53	1	0
金曜	243	1	0	0	9	7	1	32	1	1	146	0	45	0	0
土曜	216	1	0	0	7	0	1	40	1	1	141	0	23	1	0

(5) 現場到着所要時間(不搬送を除く)

(令和6年中)(単位:分)

所要時間 事故種別	総数	3分未満	3分5分未満	5分10分未満	10分20分未満	20分以上	最短(分)	最長(分)	平均(分)
総数	1,717	19	71	834	599	194	2	40	42.0
急病	1,031	16	34	455	416	110	2	38	20.0
交通事故	63	0	5	19	23	16	3	32	17.5
一般負傷	246	2	8	95	100	41	2	53	27.5
上記以外	377	1	24	265	60	27	2	36	19.0

(6) 収容所要時間別搬送人員

(令和6年中)(単位:人)

所要時間 事故種別	総数	10分未満 管外	10~20分未満 管外	20~30分未満 管外	30~60分未満 管外	60~120分未満 管外	120分以上 管外	最短(分)	最長(分)	平均(分)							
総数	1,632	490	0	44	0	290	1	785	110	490	356	23	23	14	192	103.0	
急病	983	155	0	0	33	0	207	0	561	56	165	82	17	17	14	164	89.0
交通事故	61	18	0	0	0	0	7	0	37	9	17	9	0	0	22	113	67.5
一般負傷	230	40	0	0	4	0	36	0	129	18	60	21	1	1	17	135	76.0
上記以外	358	277	0	0	7	0	40	1	58	27	248	244	5	5	15	192	103.5

(7) 救急対応別出場状況

(令和6年中) (単位:件)

対応別	総数	自己対応	消防専用電話	加入電話	駆け付け通報	その他
出場件数	1,717	0	1,560	124	25	8

(8) 発生場所別搬送状況

(令和6年中) (単位:人)

区分	総数	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他
総数	1,632	835	629	28	84	56
急病	983	688	252	18	9	16
交通	61	1	1	0	54	5
一般負傷	230	140	43	1	20	26
上記以外	358	6	333	9	1	9

(9) 年齢区分別搬送状況

(令和6年中) (単位:人)

年齢区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	老人
		生後28日未満	生後28日以上 7歳未満	7歳以上 18歳未満	18歳以上 65歳未満	65歳以上
搬送人数	1,632	1	40	44	263	1,284
割合	100.0%	0.1%	2.4%	2.7%	16.1%	78.7%

(10) 時間別出場状況

(令和6年中) (単位:件)

時間	件数	時間	件数	時間	件数
0時～2時	49	8時～10時	267	16時～18時	186
2時～4時	42	10時～12時	268	18時～20時	167
4時～6時	57	12時～14時	216	20時～22時	120
6時～8時	99	14時～16時	175	22時～24時	71
				総数	1,717

(11) 中国自動車道における救急活動（大佐SA内含む）

(令和6年中)(単位:人)

区分	出場件数	搬送件数	負傷程度別搬送人員(人)					
			死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
総数	7	7	0	2	2	3	0	7
急病	3	3	0	1	0	2	0	3
交通	2	2	0	0	2	0	0	2
一般負傷	1	1	0	0	0	1	0	1
上記以外	1	1	0	1	0	0	0	1

(12) 事故種別年齢区分別搬送人員

(令和6年中)(単位:人)

事故種 年齢区	総 数	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総数	1,632	1	0	2	61	18	15	230	1	5	983	316
新生児	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
乳幼児	40	0	0	0	0	0	0	5	0	0	31	4
少年	44	0	0	2	6	1	9	7	0	1	17	1
成人	263	1	0	0	25	14	3	24	1	3	136	56
老人	1,284	0	0	0	30	3	3	194	0	1	799	254

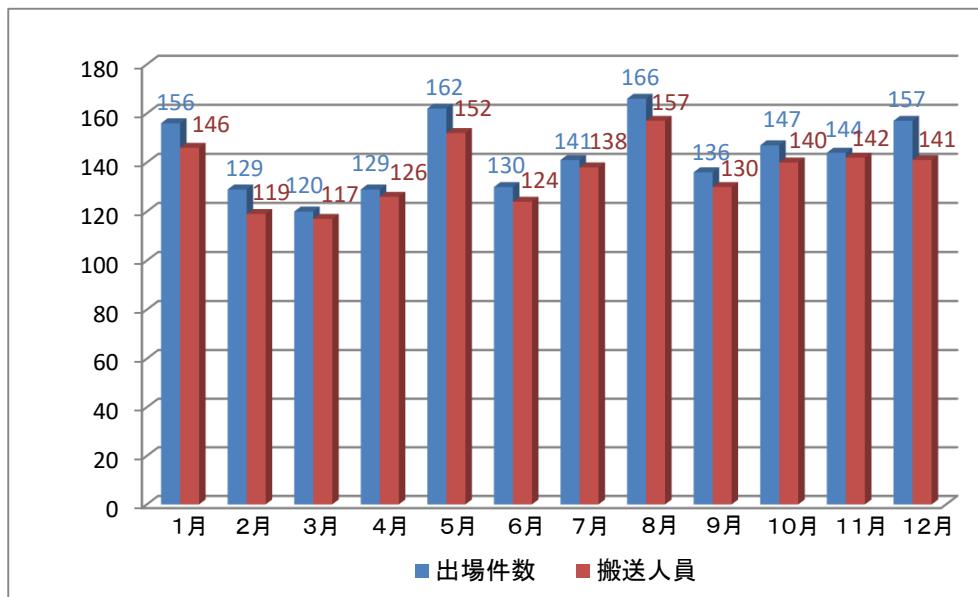
(13) 傷病程度別年齢区分別搬送人員

(令和6年中)(単位:人)

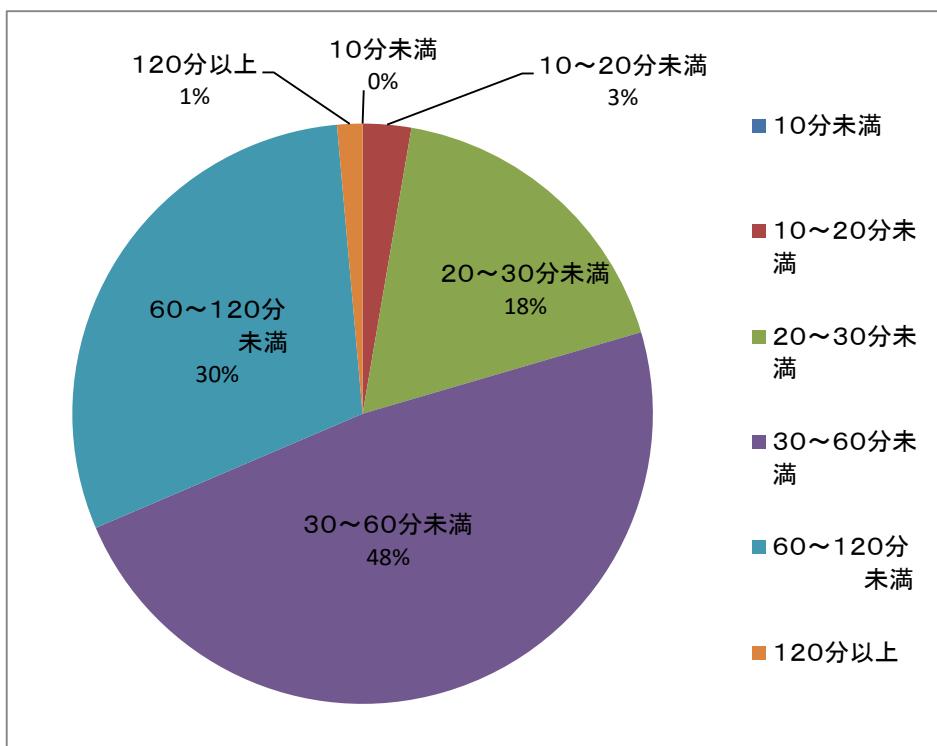
年齢区 傷病程度	総 数	新生児	乳幼児	少 年	成 人	老 人	※新生児…生後28日未満 ※乳幼児…生後28日以上、満7歳未満 ※少 年…満7歳以上、満18才未満 ※成 人…満18歳以上、満65歳未満 ※老 人…満65歳以上
総数	1,632	1	40	44	263	1284	
死 亡	49	0	0	1	3	45	※死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの
重 症	186	0	0	2	24	160	※重症とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
中 等 症	1,122	1	17	23	151	930	※中等症とは、傷病の程度が重症及び軽症以外のもの。
軽 症	275	0	23	18	85	149	※軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
その 他	0	0	0	0	0	0	

10 グラフで見る救急業務

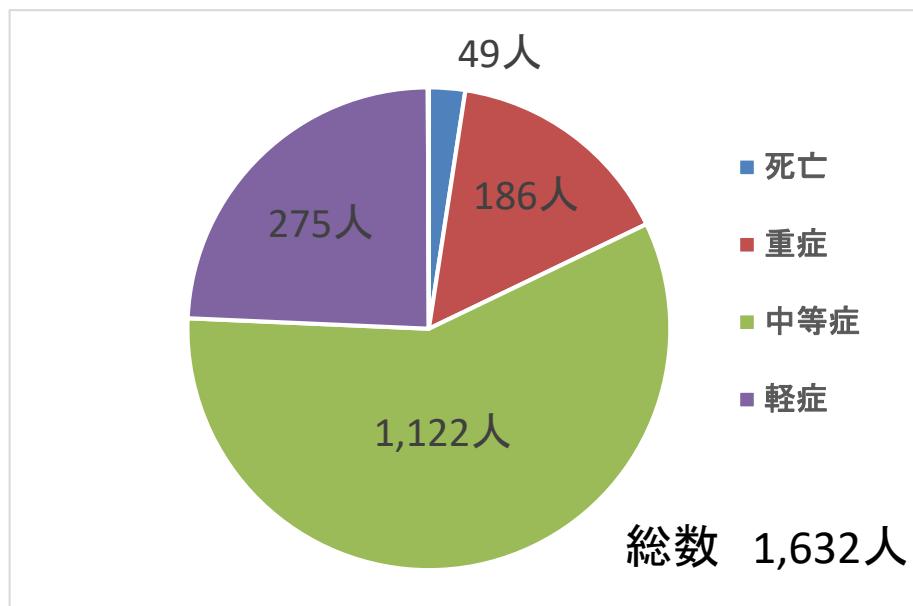
(1) 月別出場件数・搬送人員



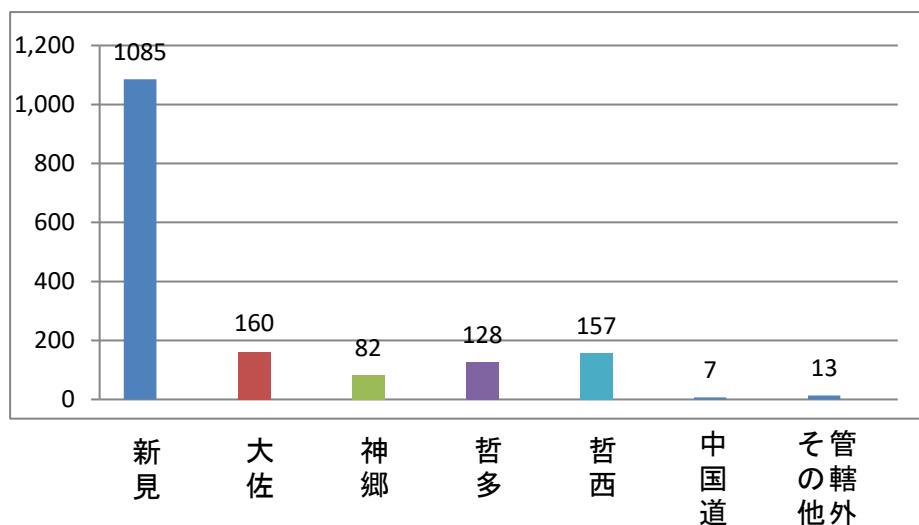
(2) 医療機関等への収容時間別搬送人員



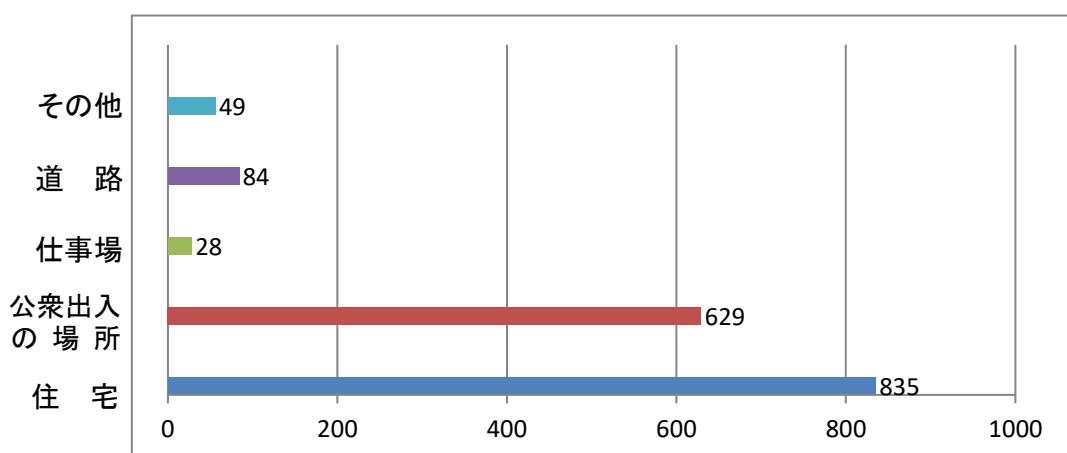
(3) 傷病程度別搬送人員



(4) 出場場所地区別搬送人員



(5) 事故発生場所別搬送人員



11 年別救助活動状況

(単位:件、人)

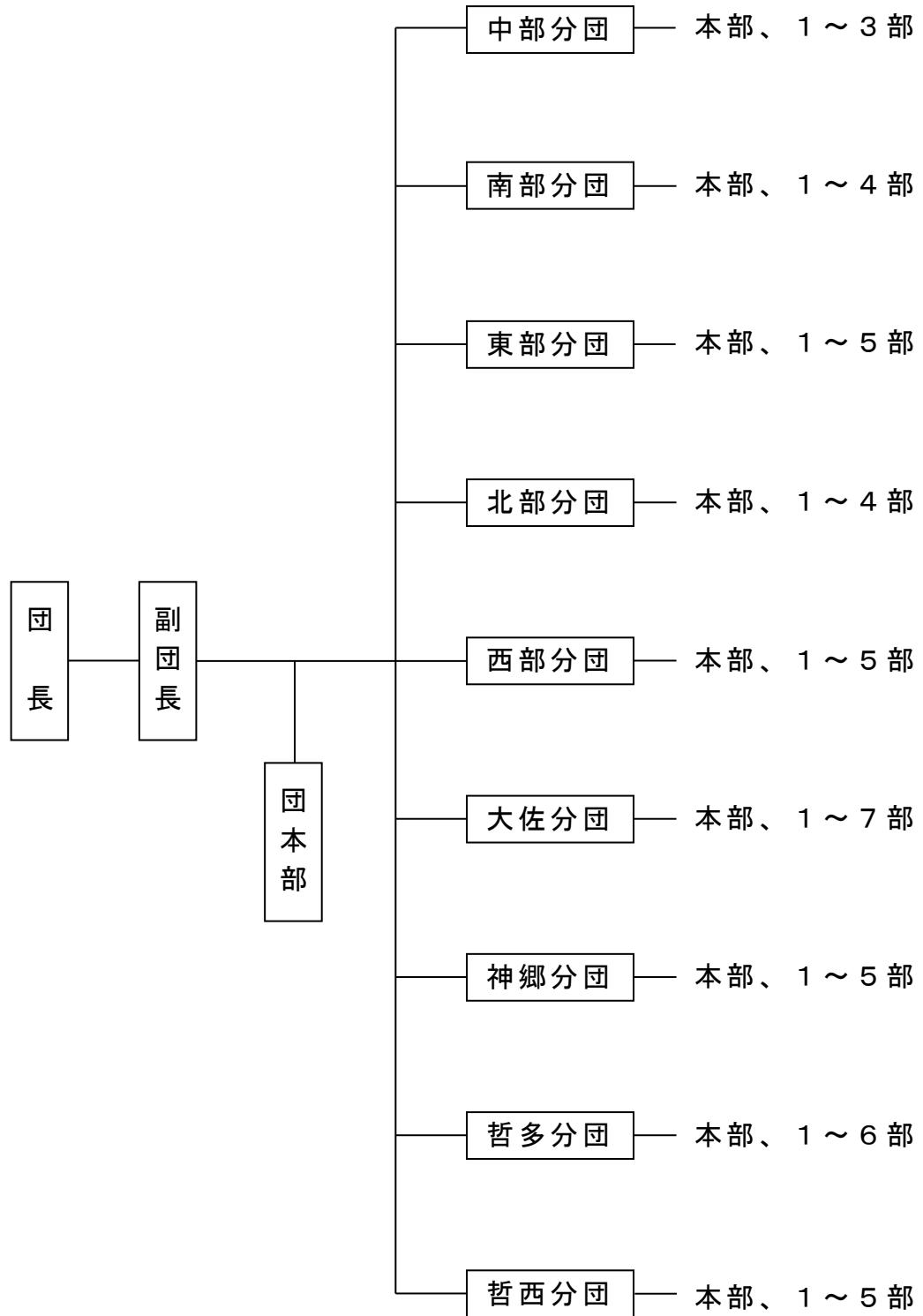
年別	事故種別	総 数	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害
			建 物	建物以外			
令和 2年	出動件数	23	0	0	12	1	0
	活動件数	17	0	0	8	0	0
	救助人員	17	0	0	8	0	0
3年	出動件数	13	0	0	10	0	0
	活動件数	7	0	0	5	0	0
	救助人員	7	0	0	5	0	0
4年	出動件数	20	0	0	15	0	0
	活動件数	11	0	0	6	0	0
	救助人員	11	0	0	7	0	0
5年	出動件数	27	0	1	21	2	0
	活動件数	14	0	1	9	2	0
	救助人員	15	0	1	10	2	0
6年	出動件数	33	0	0	14	1	0
	活動件数	20	0	0	7	1	0
	救助人員	20	0	0	7	1	0

年別	事故種別	機械による	建物等による	ガス及び	破裂事故	その他の
		事 故	事 故	酸欠事故		事 故
令和 2年	出動件数	3	1	0	0	7
	活動件数	3	1	0	0	5
	救助人員	3	1	0	0	5
3年	出動件数	0	0	0	0	3
	活動件数	0	0	0	0	2
	救助人員	0	0	0	0	2
4年	出動件数	0	0	0	0	5
	活動件数	0	0	0	0	5
	救助人員	0	0	0	0	4
5年	出動件数	1	0	0	0	2
	活動件数	1	0	0	0	1
	救助人員	1	0	0	0	1
6年	出動件数	3	0	0	0	15
	活動件数	0	0	0	0	12
	救助人員	0	0	0	0	12

消 防 団

消 防 団 関 係

1 消防団組織図



2 各消防団組織・団員数・消防ポンプ車等現有数・消防水利の現況

(令和7年4月1日現在)

消防団数		1	
消防分団数		9	
団員数	定員(人)	1,200	
	実員(人)	898 (機能別団員含む)	
普通消防ポンプ 自動車(台)		5	
小型動力ポンプ付 積載車(台)		64	
小型動力 ポンプ(台)		8	
消防水利	消火栓(公設)(基)		2,417
	防火水槽	40m ³ 以上(基)	180
		20m ³ ～39m ³ (基)	68
	その他の水利		105

3 消防団の人員状況

(令和7年4月1日現在) (単位:人)

階級等	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長 (副部長)	班長	団員
団員数	898 (67)	1	3	18	59	88	176 (3)	553 (64)

※条例定数は1,200人

機能別団員含む、()内は女性団員

4 消防団報酬

(1) 年報酬 (単位:円)

階級	報酬額
団長	129,000
副団長	79,000
分団長	69,000
副分団長	48,000
部長	40,000
班長	37,000
団員	36,500

※機能別団員は12,000円

(2) 出動報酬と費用弁償

①出動報酬

(単位:円)

種別	出動報酬(日)	備考
災害	8,000	7時間45分未満は、 1,000円/時間
訓練・警戒	2,000	

②費用弁償

(単位:円)

種別	費用弁償(日)
災害	1,000
訓練・警戒	1,000
その他(会議等)	1,000

5 消防団員の構成

(1) 消防団員の年齢別構成

(単位：人)

年齢区分	構成人数
団員数	898 (67)
20歳未満	2 (1)
20歳～23歳	18 (12)
24歳～27歳	25 (2)
28歳～31歳	57 (2)
32歳～35歳	70 (3)
36歳～39歳	102 (4)
40歳～43歳	104 (5)
44歳～47歳	111 (6)
48歳～51歳	126 (3)
52歳以上	283 (29)

機能別団員含む、() 内は女性団員

(2) 消防団員の在職年数別構成

(単位：人)

在職年数	構成人数
計	898 (67)
5年未満	137 (31)
5年～10年	130 (9)
10年～15年	156 (15)
15年～20年	122 (9)
20年～25年	139 (2)
25年～30年	100 (0)
30年以上	114 (1)

機能別団員含む、() 内は女性団員